高専 八戸高専だより

第161号　令和４年３月

独立行政法人　国立高等専門学校機構
八戸工業高等専門学校 発行
〒039-1192　青森県八戸市田面木字上野平16番地1
TEL　0178-27-7223（総務係）
FAX　0178-27-9379
E-mail　somu-o@hachinohe-ct.ac.jp
URL　https://www.hachinohe-ct.ac.jp/

目　　次

卒業生・修了生への祝辞（学校長より）…… 1
卒業生・修了生への祝辞（後援会長より）… 2
本科生　祝・卒業 …… 3
卒業生・修了生の進路状況 …… 5
卒業研究テーマ一覧表 …… 7
専攻科生　祝・修了 …… 9
専攻科特別研究発表会表彰者 …… 9
専攻科特別研究テーマ一覧表 …… 10
就職・進学体験記 …… 12
インターンシップ …… 13
新型コロナウイルス感染症への対応……13
４学期制実施部会から …… 14
退職するにあたって …… 15
新任教職員紹介 …… 16
教務委員会から …… 17
厚生補導委員会から …… 18
北辰寮から …… 19
国際交流センターから …… 20
留学生担当から …… 21
相談室から …… 21
男女共同参画委員会から……22
キャリア教育・支援センターから …… 22
図書館委員会から …… 23
全国高専体育大会結果一覧 …… 24
全国高校総合体育大会結果一覧 …… 24
各種コンテスト結果一覧 …… 25
各種検定資格合格者一覧 …… 26
スポーツ賞受賞者一覧 …… 26
令和４年度行事予定表 …… 27

試練を糧にして未来に羽ばたこう

八戸工業高等専門学校 校長　**圓　山　重　直**

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校に入学してからの５年間または７年間は、皆様の人生にとって重要な期間です。この間、皆様の成長は目覚ましいものがあります。本校で学んだ多くのことを、社会や進学先で生かして大いに活躍することを期待します。これまで、見守り支援してくださった保護者の皆様や、本校内外でご支援してくださった方々に心から御礼申し上げます。

卒業生最後の２年間は、新型コロナウイルスに翻弄された年でした。多くの行事を中止または縮小せざるを得ませんでした。課外活動も制限され、高専大会などの大会にも出場できない状況が続きました。

令和２年度は、４月から６月まで全校一斉に遠隔授業を実施し、学生・教職員の皆さんには多大な負担をかけました。就職活動は、リモート面接が主体となり、首都圏等への移動が制限されるなど、例年通りの活動ができませんでした。今後もオミクロン株などの動向が予断を許さない状況です。

このような厳しい状況でも、本校の学生諸君は頑張ってくれました。昨年度は、何とか球技大会を実施し、皆さんの熱意で「タモロック2020」を開催しました。本年度は校内体育大会や高専祭を実施することが出来ました。高専祭では、外部の方を招待できませんでしたが、各種パフォーマンスや花火大会で大いに盛り上がりました。

逆境を乗り越えた人は、その後大きく成長するといわれています。皆さんの最後の２年間は、正に試練の連続でした。しかし、その中でも学校行事を開催し、遠隔授業をこなしながら、リモートで入社面接を受けるなど、これから来るであろう「ニューノーマル」な社会に向けた活動を皆さんが実践したことになるのです。

コロナ禍が終息した後も、リモートワークや遠隔会議は続くと考えられます。皆さんは、それらを実践したことにより、社会で一層活躍できるものと思います。

本校が自主探究を開始してから７年になります。つまり、本年卒業・修了される皆さんは、１年生から自主探究に取り組んでいます。まだ答えのない課題を自分で探し解決する自主探究には、多くの学生が苦労します。特に、中学校で答えのある問題を解いてきた新入生は、大いに戸惑ったと思います。

この体験は、皆さんが社会に出た時、大いに役立つと確信しています。インターネット社会では、情報は容易に入手できます。しかし、状況を見て何が問題かを発見することは、現在のＡＩでもできません。皆さんは、自主探究を通じて問題発見能力とプレゼンテーション能力を磨いてきました。

これからの社会は、それらの能力が益々重要になってきます。自主探究で培った課題発見能力と、成果を相手に伝えるプレゼンテーション力を遺憾なく発揮して、皆さんが社会で活躍することを祈念しています。皆さんは、次世代の教育をすでに身に着けているのです。自信をもって自分をアピールしてください。

本校は、皆さんが卒業してからも継続して支援をしてゆきたいと考えています。そのために、一般財団法人「はちのへ科学技術研究会」を2020年より運用しています。この財団では、本校卒業生の就職支援を行っています。卒業後に困ったことがありましたら、本校または財団にご相談ください。

来年度から、混住型国際寮の本格運営が始まります。北辰寮Ｅ棟に加えてＩ棟と新しいＮ棟が混住型となり、全寮生の約半分が新しい寮で生活することになります。これに伴い、寮の運用方法を変更し、グローバルエンジニア育成に向けた新しい寮生活ができるようにしたいと考えています。

最後に、これまでご支援頂いた保護者の方々、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げると共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

百聞不如一見

後援会長　島　脇　典　秀

卒業並びに修了を迎えられた皆様また今日まで温かく見守ってこられた保護者の皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、この良き春を迎えることができたのも校長先生をはじめとする諸先生方や職員の皆様のおかげであると深く感謝しております。保護者の皆様におかれましては後援会の活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。

学舎を旅立つ皆さん。長い学生生活はどのようなものでしたか。学業、課外活動、資格受検やバイト活動など皆さんそれぞれに違った思い出があることでしょう。「百聞は一見に如かず」と申します。昨今の情報過多となっている社会の中で学生生活での体験は、皆さんの「これから」を決定する重要なファクターと位置づけられるものだと思います。

就職や進学と新しい環境にこれから身を置くことに期待と不安を抱えていることと思います。期待と不安は表裏一体です。高専生活で体験した全てのことを活かし、更に今後得るであろう新たな体験を自分自身に取込み、より良い人生が送れるよう祈っております。

ここ数年はCOVID-19とともに社会が動き、以前とは生活習慣が明らかに変化しました。入学した時にできた行事が中止になったり、授業がリモートになったりetc.

最近では、オミクロン株の出現により社会情勢が変化しています。社会の情勢は常に変化していきます。今春また数年後には皆さんも社会人となりますが、社会情勢の変化に対応していかなければなりません。変化と言えば、「この世に生き残る生き物は、最も力が強いものでも、最も頭が良いものでもない。変化に対応できるものだ。」という言葉があります。出典自体は様々な憶測がありますが、人間社会で生活する上では重要であると感じています。新しい環境、新しい場所、社会情勢の変化、結婚と社会で生活する中でもたくさんの変化要素があります。

変化に富んだ社会情勢に加え、ジェンダーフリーなどの人権の多様性やSDGsのような国際的な感覚が必要になります。八戸高専で学んだ皆さんは、国際的な感覚はすでに持っていることと思います。後は、様々な価値観を持つ人と会い、刺激を受け、自分の芯をしっかり持つと共に、変化に対応できる行動力も持つことが重要です。家庭で身に着けたこと、八戸高専で身に着けたこと、これから身に着けること。自分自身が見たこと・体験したことからぶれない芯となることを見つけ、世の中の変化を感じてください。

最後になりますが、八戸高専の更なる発展そして卒業生の新たなる旅立ちを祈念して卒業への言葉といたします。

本科生　祝・卒業

産業システム工学科　機械システムデザインコース

卒業おめでとうございます

機械・医工学コース長　村山　和裕

ご卒業おめでとうございます。高専生活最後の２年間はコロナ禍に見舞われて、皆さんも大変苦労されたことと思います。また、各種行事や大会等が中止になって、寂しい思いも味合われたことでしょう。私たちも皆さんの躍動する姿を見ることができずに、大変残念でした。

４月からは新しい生活が始まるわけですが、まだテレワークやオンライン授業など、不便な生活を強いられるかも知れません。それでも、いつかきっとコロナ禍が終息する日が来ることを信じて、自分を磨く努力を怠らないようにして下さい。

皆さんのご活躍を期待しています。

輝かしい将来へ

機械システムデザインコース５学年担任　沢村　利洋

ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆さまには、長年にわたるご子息への支援に心より感謝しお祝い申し上げます。

コロナ禍の中、何をするにも制約があった最上級生としての一年でしたが、その中でも、リモートでの新入生歓迎会の開催、着ぐるみでも楽しんだ球技大会での総合優勝、迷いながらも真剣に取り組んだ進路活動など、一生の糧となる多くの体験をして来ました。落ち込みそうな時でも楽しみを見つけ笑って過ごせた皆さんは、今後、社会の荒波にもまれても、ヘッという気概で十分対応できると信じています。体に気を付けて、輝かしい将来を実現してください。

卒業を迎えて

機械システムデザインコース５年　丹治　和希
（八戸市立大館中学校出身）

私たちが高専に入学してから早いところ５年が経ちました。コロナの影響で中止となった遠足や研修旅行や、自分たちの無知さに気づいた３DCADなどいろいろありました。しかし、つらい思い出以上に楽しかったこともありました。それは球技大会や体育大会などです。全員で協力し合い勝利に向かって戦ったことは、いい思い出です。これらの経験は、この先の人生における力の源になるでしょう。

５年間支えてくださった両親、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。これから、それぞれの道で、羽ばたいていきましょう。そして、また元気な姿で会いましょう。今までありがとう。

産業システム工学科　電気情報工学コース

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学コース長　野中　　崇

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、関係者の皆様にも心よりお祝いを申しあげます。

八戸高専での学業やクラブ活動、その他さまざまな活動を通して経験してきたこと、さらには学校外での経験も、成功や失敗も含めて、すべてがみなさんの大きな財産になっていると思います。

卒業後も、高専での経験を活かしつつ、変化を恐れることなく、さまざまなことにチャレンジして、次のステージでも大きく羽ばたかれることを期待しております。

今後のみなさんのご活躍をお祈りいたします。

卒業を祝して　～ 最善を尽くそう！ ～

電気情報工学コース５学年担任　松橋　信明

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

私は今年度で定年となり、最後の校務が君達の担任だったことをとてもうれしく思います。どうもありがとう。まとまりのあるすばらしいクラスでした。これから新たな道に進むことになりますが、更なる成長を目指して、最善を尽くしましょう。そうすれば必ず道は開け、きっと人生を豊かで幸福なものにしてくれるでしょう。

最後になりますが、これまで育ててくれた保護者の皆様に感謝するとともに、卒業生の皆様の今後のますますのご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業を迎えて

電気情報工学コース５年　豊島遼太朗
（洋野町立種市中学校出身）

学生服を着て放課後の部活や明日提出のレポートの事を考えていた私たちも、スーツを着て将来を考えるようになりました。

思い返すと高専祭や体育祭、球技大会と同じくらい日常のワンシーンが強く記憶に刻まれています。それが高専生活の毎日を充実したものにできた証だと今では思えます。５年間をこのクラスメイトと共に過ごせたことは私の誇りであり、かけがえのない思い出です。

一人ではこの５年間を乗り越えることはできませんでした。先生方や親、先輩、後輩に心から感謝しています。みなさんのこれからのご活躍を心から願っています。

本科生　祝・卒業

産業システム工学科　マテリアル・バイオ工学コース

ご卒業おめでとうございます

マテリアル・バイオ工学コース長　齊藤　貴之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

コロナ禍の中、５年生では行事もできるようになり、高専祭などは良い思い出になったのではないでしょうか。皆さんは自主探究活動や卒業研究を通して、自分で課題を考えて実施する能力を身に付けたと思います。皆さんならコロナ禍のような厳しい状況に直面しても、この能力を活かし、周りと協力しながら乗り越えるものと確信します。

最後に、卒業生にいつも話すことですが、健康に留意して、長い人生を楽しんでください。卒業後、皆さんが元気で活躍する姿を見たり、話を聞いたりすることを楽しみにしています。

ご卒業おめでとうございます

マテリアル・バイオ工学コース５学年担任　本間　哲雄

保護者の皆様、これまでにご子息・ご息女を立派に育てられ、心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さんは、今まで保護者や先生、友人から、有形無形の応援を受けて卒業を迎えました。一人で何でも実現できると思いがちですが、周囲の方の物心両面での支援のおかげと思います。これからの予測困難な社会の変化に不安かと思いますが、思わぬ所で人に助けられることがあるでしょう。卒業生の皆さんは周囲の方への感謝を忘れずに、そして次の世代にその恩を注いでほしいと思います。母校はいつも田面木にありますから、時には立ち寄るのもよいと思います。卒業生たちの輝く未来に期待しています。卒業おめでとう。

感謝を込めて

マテリアル・バイオ工学コース５年　山内　女維
（八戸市立白山台中学校出身）

あっという間に卒業を迎えてしまいました。５年とか長すぎると考えていた入学式が昨日のようです。沢山挑戦し成長できた５年間でした。悔しくて部活で泣き勉強で泣き、辛いこともありまくりでしたが、それも糧として進んでいけそうです。

泣き笑い溢れるまぶしい日々を送ることができたのは、周りにいてくれたみんなのおかげです。本当にありがとう。また、Ｃ５の思い出作りをサポートしてくださった本間先生をはじめ、私たちを厳しくも優しく導いてくださった諸先生方、ありがとうございました。

この学校に入って本当に良かったです。出会えたすべての人に感謝しています。

産業システム工学科　環境都市・建築デザインコース

卒業おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース長　藤原　広和

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、ならびに保護者、ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。あっという間の５年間だったのではないでしょうか。ちょうど今年度は八戸市新美術館のオープン、三陸沿岸道路（復興道路）の全線開通という本コースと関わりの深い大規模なインフラ整備が完了しました。皆さんは既にご覧になったでしょうか。

今後も新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度が必要です。そして自己の向上を継続してください。八戸高専卒業生としての皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

ご卒業おめでとうございます！

環境都市・建築デザインコース５学年担任　今野　大輔

Ｚ５の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

私にとって人生初担任で不安が多くありましたが、皆さんはまとまりのあるクラスでしたので、心から楽しんで１年を過ごすことができました。ありがとうございました！コロナ禍でイベントが中止、縮小になることばかりで辛かったと思いますが、そのなかで出来ることを仲間達と一緒に進めたという思い出は一生残ります。私も高専生でしたが、今でも１番気が合うのはやはり高専の時の同級生です。今後それぞれが別々の道を歩むことになりますが、楽しいこと、辛いことを共有したＺ５の仲間の繋がりを忘れず、過ごしてみてください！

卒業を迎えて

環境都市・建築デザインコース５年　丸岡　乃信
（八戸市立市川中学校出身）

仲間と学び、遊び、汗を流した高専生活が終わりを迎えます。到達度試験、実験レポート、コロナ禍での生活などは辛く何度も挫折しました。しかし卒業はやはり寂しく、今となっては良い思い出だと感じます。

共に成長してきた仲間といつも近くで支えてくださった担任の今野先生をはじめ、諸先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

最後にＺ５のみんな、後輩のみんな思い出をありがとう。本当に出会えてよかった。成長した姿でまた会えるように１日１日を大切に今を生きます。そしてこれからも陰ながら皆さんのご活躍をお祈りしています。

令和３年度　卒業生・修了生の進路状況

今年度の本科卒業予定者および専攻科修了予定者の進路状況を下表に示します。また、具体的な就職先、進学先については次ページの表のとおりです。

本科卒業予定者は159名で、卒業予定者の51％（昨年度40％）に相当する81名（昨年度61名）が進学、卒業予定者の48％（昨年度60％）に相当する76名（昨年度85名）が就職です。専攻科修了予定者は23名で、修了予定者の48％（昨年度52％）に相当する11名（昨年度16名）が大学院に進学、修了予定者の52％（昨年度48％）に相当する12名（昨年度14名）が就職します。専攻科の進学・就職はほぼ昨年度と同等の割合ですが、本科は昨年度に比べて進学者の割合が増加しました。

本科に対する求人数は2,492件（昨年度2,653件）、同じく専攻科では2,321件（昨年度2,394件）と、若干減少していますが、就職希望者数が減少したことから、求人倍率は本科32.8倍（昨年度31.2倍）、専攻科193.4倍（昨年度171.0倍）と増加しており、高い水準を維持しています。近年の人手不足を反映したもので、コロナ禍にもかかわらず、売り手市場傾向が続いていることが伺われます。また、企業の採用担当者からは、高専卒業生の評価が高く、八戸高専から採用したいという声を多数いただいており、今後も高い求人倍率が維持されるものと思われます。

本科の進学先で最も多いのは例年通り本校専攻科で24名（昨年度19名）となりました。専攻科を選択する主な理由は、難関大学大学院への進学に有利であること、本科で取り組んできた研究テーマの継続、海外留学の機会、そして国立大学と比較して学費が安いことなどが挙げられます。

専攻科からの進学先では、東北大学大学院が７名（昨年度９名）と最も多くなっています。最近の傾向として、難関大学大学院も高専専攻科からの学生の評価が高く、進学を歓迎していただいています。

進路を考えるときに、はじめに行うことは自己分析です。自分の興味関心の方向性、いままで取り組んできたことを整理し、その先のビジョンを大まかにつかむことです。そのあとで、関係しそうな分野の企業や大学を調べていきます。その際に役立つのはインターンシップや大学や企業等の説明会ですが、コロナ禍で実地形式や対面形式での開催が困難となっている中で、オンラインでのインターンシップや説明会等が多く開催されています。自分から積極的に開催案内を探し、参加していくことが望まれます。

多くの企業･機関が学生に求める資質は、コミュニケーション能力、協調性、主体性、実行力、課題設定・問題解決能力、創造力などです。これらの能力は、エントリーシートや適性検査、面接等で試されます。本校は求人数が多く、簡単に内定をいただけるように思われるかもしれませんが、企業の選考は意外に厳しいところもあります。能力があっても準備不足で第一志望に合格できない場合もあります。日頃から自己啓発を行うとともに、選考試験までに余裕をもって十分な対策をたてておくことが大切です。

また、青森県内にも数多くの優れた企業があります。あおもり県内企業内容説明会や県内企業見学ツアー、３月の本校の企業内容説明会などの機会を利用して企業研究に努めてください。

本校では平成30年度よりキャリア教育・支援センターが開設され、低学年からのキャリア教育をより一層充実させております。さらに毎年発行している就職・進学ガイドブックも活用してください。スケジュールや手続きの方法、先輩方のアドバイスなど参考になる情報がまとめられております。また、進路に関することは、担任、コース長、キャリア教員･支援センター委員等にいつでもご相談ください。

進路支援等委員長
野中　　崇（産業システム工学科長）

令和４年２月16日現在

本　　科 産業システム工学科	卒業予定者			進学者 （大学・専攻科）			就職者			その他			求人数	求人倍率
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	人	倍
機械システムデザインコース	35	0	35	20	0	20	14	0	14	1	0	1	703	50.2
電気情報工学コース	29	7	36	15	2	17	14	4	18	0	1	1	722	40.1
マテリアル・バイオ工学コース	28	15	43	17	6	23	11	9	20	0	0	0	513	25.7
環境都市・建築デザインコース	27	18	45	12	9	21	15	9	24	0	0	0	554	23.1
計	119	40	159	64	17	81	54	22	76	1	1	2	2,492	32.8

専　攻　科 産業システム工学専攻	修了予定者			大学院進学者 ※予定者を含む			就職者			その他			求人数	求人倍率
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	人	倍
機械システムデザインコース	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	653	326.5
電気情報システム工学コース	6	1	7	5	0	5	1	1	2	0	0	0	672	336.0
マテリアル・バイオ工学コース	5	2	7	3	2	5	2	0	2	0	0	0	476	238.0
環境都市・建築デザインコース	7	0	7	1	0	1	6	0	6	0	0	0	520	86.7
計	20	3	23	9	2	11	11	1	12	0	0	0	2,321	193.4

令和３年度　就職・進学先一覧

令和４年２月16日現在

【就職―本科】

就　職　先	所在地	M	E	C	Z	計
アイフォーコム株式会社	神奈川県		1			1
朝日インテック株式会社	愛知県	1				1
旭化成株式会社	東京都			2		2
株式会社アトマックス	宮城県				1	1
アンデス電気株式会社	青森県			1		1
出光興産株式会社千葉事業所	千葉県	1				1
エイト技術株式会社	青森県			1		1
株式会社エスイーシー	北海道	1				1
NECネッツエスアイ・サービス株式会社	東京都		1			1
NECフィールディング株式会社	東京都		1			1
NTT東日本グループ会社<エンジニア>	東京都		4			4
ENEOS株式会社	東京都	1				1
ENEOSエルエヌジーサービス株式会社	青森県			1	1	2
株式会社大泉製作所	青森県			1		1
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社	東京都		1			1
関東化学株式会社	東京都			1		1
株式会社カンドー	東京都	1				1
株式会社クレオ	東京都	1				1
国土交通省北海道開発局	北海道				1	1
株式会社コサカ技研	青森県				1	1
サントリーグループ	大阪府	1	1			2
サントリープロダクツ株式会社	大阪府			1		1
サンライズ・エー・イー株式会社	青森県		1			1
株式会社J-POWERハイテック	東京都				1	1
シオノギファーマ株式会社	大阪府			1		1
星光PMC株式会社	東京都			1		1
大日精化工業株式会社	東京都			1		1
中外製薬工業株式会社	東京都			1		1
中発テクノ株式会社	青森県			1		1
中部電力株式会社	愛知県		1			1
電源開発株式会社	東京都				1	1
東京ガス株式会社	東京都				2	2
東京ガスパイプネットワーク株式会社	東京都	1				1
東京都下水道サービス株式会社	東京都			1	1	2
東芝ディーエムエス株式会社	東京都			1		1
東北電力株式会社	宮城県		2		1	3
ニコン株式会社	東京都	1				1
日本原子力発電株式会社	東京都				1	1
日本原燃株式会社	青森県	1			1	2
日本ファインセラミックス株式会社	宮城県	1				1
ハイモ株式会社	東京都			1		1
八戸工業高等専門学校	青森県			1		1
八戸市	青森県				1	1
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社	東京都	1				1
東日本高速道路株式会社	東京都				1	1
東日本旅客鉄道株式会社	東京都		1		3	4
株式会社飛翔ソフトウェア	東京都		1			1
株式会社FIXER	東京都		1			1
株式会社フジタ	東京都				1	1
フジテック株式会社	東京都	1				1
富士フイルムメディカル株式会社	東京都	1				1
富士フイルム和光純薬株式会社	大阪府			1		1
株式会社復建技術コンサルタント	宮城県				1	1
北海道	北海道				1	1
穂積建設工業株式会社	青森県				1	1
株式会社マルハニチロ	北海道			1		1
三井共同建設コンサルタント株式会社	東京都				1	1
三菱地所コミュニティ株式会社	東京都				1	1
メタウォーター株式会社	東京都		1			1
雪印メグミルク株式会社	東京都			1		1
株式会社ランドスケイプ	東京都		1			1
若築建設株式会社	東京都				1	1

【進学―本科】

進　学　先		M	E	C	Z	計
［大　学］	秋田大学				1	1
	秋田公立美術大学		1			1
	茨城大学	1	1			2
	岩手大学	2	1		2	5
	岩手県立大学	1				1
	宇都宮大学		1		2	3
	岡山大学			1		1
	お茶の水女子大学			1		1
	金沢大学	2				2
	群馬大学			1		1
	埼玉大学	1			1	2
	滋賀県立大学				1	1
	信州大学			2	1	3
	千葉大学				1	1
	筑波大学		1	1		2
	電気通信大学		1			1
	東北大学		1	1		2
	豊橋技術科学大学			6	1	7
	長岡技術科学大学	4	2	2	2	10
	名古屋大学	1		1		2
	広島大学			1		1
	北海道大学				1	1
	室蘭工業大学	1			1	2
	横浜国立大学			1	2	3
［専攻科］	函館高専専攻科		1			1
	八戸高専専攻科	7	7	5	5	24

【就職―専攻科】

就　職　先	所在地	AM	AE	AC	AZ	計
株式会社青森銀行	青森県		1			1
朝日インテック株式会社	愛知県	1				1
エプソンアトミックス株式会社	青森県			1		1
国土交通省東北運輸局	宮城県				1	1
小島化学薬品株式会社	埼玉県			1		1
東北電力株式会社	宮城県				1	1
日本原燃株式会社	青森県				2	2
八戸市	青森県				1	1
パナソニックシステムソリューションズ株式会社	東京都		1			1
東日本高速道路株式会社	東京都				1	1
メタウォーター株式会社	東京都	1				1

【進学―専攻科】

進　学　先（※予定者を含む）		AM	AE	AC	AZ	計
［大学院］	宇都宮大学大学院		1			1
	筑波大学大学院		1			1
	東北大学大学院		3	3	1	7
	北海道大学大学院			2		2

卒業研究テーマ一覧表

【機械システムデザインコース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
石澤　輝	シュリーレン PIV 法による自然対流熱伝達の速度境界層の可視化測定	古川　琢磨
蛯名夕輝	曲げ試験によるバイメタルを用いた針状電極のたわみ特性解析	井関　祐也
木村祐大	超音波振動援用ドリル加工における材料表層金属結晶構造がバリの生成に及ぼす影響	田口　恭輔
黒沢航二朗	ガードヒータ型精密温度計測サーミスタプローブを用いた有効熱伝導率測定の数値的検討	井関　祐也
鈴木健斗	MPS 法による平板への水流の衝突力の検討	沢村　利洋
滝沢岳翔	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（一様減肉の較正関係を利用した肉厚分布測定の試み）	武尾　文雄
田名部航大	多重イオンビーム照射用試料の作製技術開発	古谷　一幸
丹治和希	筋固縮定量評価装置の開発	黒沢　忠輝
長嶺俊介	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢　忠輝
細野叶多	超音波振動を援用した無段変速加工による高効率バリ抑制技術	田口　恭輔
母良田歩夢	人の口腔より発せられる気流の再現装置の開発	沢村　利洋
麦沢祐人	筋固縮定量評価装置の開発	黒沢　忠輝
秋田大雅	温熱療法のための非侵襲的な温度計測手法の改良	井関　祐也
長利颯大	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（有限要素法による電位場解析）	武尾　文雄
加藤一心	パーキンソン病の振動療法に関する研究	黒沢　忠輝
齋藤皐滉	悪路走破性を備えた四足歩行ロボットの製作	郭　福会
佐藤龍冴	内皮細胞の形態形成と血流の相互作用に関する計算流体力学的解析	森　大祐
髙橋賢光	矩形型空胴共振器の加温位置制御	井関　祐也
舘　海斗	共振現象を利用した超高サイクル疲労試験装置の試（板状試験片の場合）	武尾　文雄
田中大陽	多重イオンビーム照射用試料の作製技術開発	古谷　一幸
傳法知輝	複数方向の撮影画像に基づく上方する気泡の3次元形状構築	沢村　利洋
戸川颯太	内皮細胞の形態形成と血流の相互作用に関する計算流体力学的解析	森　大祐
得丸翔平	蛇型ロボットの製作	郭　福会
奈良　龍	機械要素の使い方を学べる教材の試作	村山　和裕
西舘来夢	ヒートショック予防を目的としたサウナ内部での個人差パラメータを導入した体内人体モデルの評価	古川　琢磨
林 アレキサンダー 海聖	六足歩行ロボットの製作	郭　福会
平　詠輝	超音波振動援用ドリル加工における材料表層金属結晶構造がバリの生成に及ぼす影響	田口　恭輔
村松裕太	直流電位差法による配管の局部減肉評価に関する研究（有限要素法による電位場解析）	武尾　文雄
山田翔英	高プラントル自然対流熱伝達の傾斜影響による熱流動特性変化	古川　琢磨
山端大樹	SLAM の開発	郭　福会
湯沢　光	高精度絶対圧センサの高度計への応用	村山　和裕
米内山　開	粒子法による微小血管内の血流と血液循環がん細胞の運動に関する解析	森　大祐
若澤聖弥	二足歩行ロボットの静歩行と動歩行についての研究	郭　福会
和田冬馬	生体のレーザー加熱療法における温度空間分布の評価	古川　琢磨
渡辺拓巳	超音波振動を援用した無段変速加工による高効率バリ抑制技術	田口　恭輔

【電気情報工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
小林尚平	分子薄膜作製を目的とした真空蒸着装置の開発	角館　俊行
櫻庭貫市	E級アンプを用いた小型機器の無線電力伝送システムの開発	野中　崇
佐藤龍空	擬火花放電の放電特性に対するフローティング中間電極の効果	鎌田　貴晴
住吉武尊	高周波電源回路における MOSFET の評価	大里　辰希
髙澤もも	二硫化タングステン薄膜の成膜条件の最適化	中村　嘉孝
高瀬徳優	有機薄膜デバイス測定装置の開発	角館　俊行
田中陽来	MoS_2 原子層の熱 CVD 成長及び品質の最適化	中村　嘉孝
月舘悠斗	擬火花放電プラズマ CVD 法による基板の電流制限抵抗および電圧の DLC 膜特性に与える影響	鎌田　貴晴
戸田悠仁	HPC 液晶における選択反射特性の色彩評価	松橋　信明
豊島遼太朗	SCIGRESS を用いた半導体材料のシミュレーション	松橋　信明
長倉春彦	Openpose を活用した姿勢改善ソフトの開発	中ノ　勇人
藤田法明	サーミスタ抵抗温度特性の超高性能真空校正装置における計測制御システム構築と性能評価	野中　崇
船水直幹	プラズマ CVD 装置を用いたグラフェンの成膜条件の調査	中村　嘉孝
横山みやび	スパッタ法による六方晶窒化ホウ素薄膜の合成	中村　嘉孝
ソ　コ	負荷非依存 E 級インバータの設計	大里　辰希
大友　玄	深度センサとマーカレス AR を用いた電磁界可視化システムの開発	佐藤　健
小川銀河	LMS アルゴリズムのよるミリ波帯 FMCW レーダ間干渉低減技術の提案	工藤　憲昌
金留こたか	プラントの適応推定による ANC システム	工藤　憲昌
上沢悠三	会話分析によるセルフモニタリングシステムの開発　～音声認識と分析評価の自動化～	中ノ　勇人
菊地京陽	動的物体の影響を削減するリアルタイム SLAM の開発	釜谷　博行
菊地大樹	分子動力学法を用いたコバルト酸リチウムの温度特性に関する研究	松橋　信明
久保武之介	Raspberry Pi を用いた並列計算機の構築と評価～ハードウェアの構造による性能の違い～	中ノ　勇人
古村晴智	シミュレータを用いた神経細胞の周波数特性の解析	佐藤　健
三合堂恭平	分子動力学法によるエポキシ樹脂の耐熱性と炭素数と分岐数の関係	松橋　信明
神　優音	LMS 法を用いたリコーダー練習アプリケーションの作成	工藤　憲昌
武田浩季	LabVIEW-Processing 間通信による皮膚がん検出システムの操作 UI 試作	細川　靖
鳥谷部孝大	音源分離を用いた音声データの話者分離	中ノ　勇人
中里美夢	電磁界の健康影響を正しく理解する教材開発とその学習効果	佐藤　健
中田　陸	Raspberry Pi を用いた並列計算機の構築と評価～分散メモリにおける効率的なタスク割り当て～	中ノ　勇人
成田百香	RealSense を用いた衣服購入のための人体自動採寸に関する研究	釜谷　博行
長谷龍之介	無線マイコンを用いた CO_2 測定 Web アプリケーション試作	細川　靖
洞内涼雅	M5StickC を用いたトラッキングモジュール試作	細川　靖
村上草太	Google Cardboard による分子構造学習支援アプリの開発	松橋　信明
森岩昂弘	M5StickC を用いたモーションキャプチャに関する研究	細川　靖
米谷亜夕	深層学習による動作を伴う指文字の認識に関する研究	釜谷　博行
類家健永	スマートグラスを用いた室温の可視化と評価	細川　靖

【マテリアル・バイオ工学コース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
荒井太陽	Reaction analysis for laminated plastic recycling using subcritical water	本間　哲雄
五十嵐　慧	Analysis of Separation Behavior of Inclusions in Molten Aluminum by Secondary Flow in Swirling Flow -Effect of Reversed Cone-	新井　宏忠
上道隼也	液相法により合成したLTOの合成条件が電極特性に及ぼす影響	門磨　義浩
蛯名曹太	アーク放電を用いた炭素材料合成への基板金属の変化における効果	齊藤　貴之
小笠原亮太	水中硝酸イオン還元反応の促進に向けた反応条件の検討	小船茉理奈
尾田川陽音	*Connnarus rubber* の二型糖尿病における血糖コントロール能評価	川口　恵未
金子花音	ウエットエッチングによる微細回路形成	松本　克才
ガルブレス　ハンナ	ニンニク廃棄部位を原料とするセルロースハイドロゲルの調製とその性質	菊地　康昭
北上偉武暉	アーク放電を用いた炭素材料合成への水素分圧変化における効果	齊藤　貴之
黒沢陽一朗	Molecular dynamics simulation of ZnO aggregation and nucleation process	本間　哲雄
髙橋叶実	Cu配線向けノンシアン無電解Auめっき	松本　克才
内城和生	Analysis of Separation Behavior of Inclusions in Molten Aluminum by Secondary Flow in Swirling Flow -Effect of Cylinder-	新井　宏忠
中島彩稀	抗菌性無機資源充填グラフト化PVCの物性評価	佐藤久美子
西田華苑	硝酸態窒素と二酸化炭素の有効利用を目指した触媒の探索	小船茉理奈
沼山朋生	耐アルカリ性触媒担体を用いたアンモニア分解水素生成触媒の開発	長谷川　章
畑山彩華	Synthesis of Oligo (alkyloxazoline) methacrylate Macromonomers for the Development of Novel Drug Delivery Systems	佐藤久美子
早川陽菜乃	硫酸 - 過酸化水素水溶液による銅の溶解挙動に対する添加剤及び表面処理の効果	松本　克才
田村佑輔	Effect of inorganic salts on the catalytic decomposition of dibutyl phosphate with metal oxide in high temperature and high pressure water	本間　哲雄
原　遼太朗	担持ニッケル触媒による水中硝酸イオンからアンモニアへの還元	小船茉理奈
前田平大	Galvanic corrosion of Al-Cu and Al-Sn in aqueous sodium chloride solutions	松本　克才
山﨑公貴	Dynamic Behavior of Inclusions in Molten Metal on Gas Stirred Vessel	新井　宏忠
山下丈一郎	Subcritical water treatment for chemical recycling of adhesive coated PET film	本間　哲雄
吉田時人	マイクロバブルを用いたマンガン酸化物電極の合成と電極特性評価	門磨　義浩
狄守愛優	長鎖ポリオキサゾリングラフトPVCの親水性評価	佐藤久美子
岩井哲宏	コンナルス由来Rapanoneの変異原性抑制機構の解析	川口　恵未
太田瑠南	大環状分子Cm6の高速合成とCm6Hの機能開拓	菊地　康昭
春日朋佳	椿の枝から分離した *Saccharomyces cerevisiae* の製パンへの利用可能性	山本　歩
上　裕樹	未利用海洋生物由来化合物のがん細胞増殖抑制の解析	山本　歩
川畑智也	Effect of metal composition on vitrification for radioactive waste by MD simulation	本間　哲雄
小泉美月	新規テレケリックスによる銅板の表面改質	佐藤久美子
小橋良真	水素ガスを還元剤としない鉄触媒による水中硝酸イオン還元反応	小船茉理奈
佐々木太陽	ナノチタニアの合成とその光触媒活性	長谷川　章
下川原澄峻	金属電極を用いたアーク放電による炭素材料の合成	齊藤　貴之
田端千聖	八戸高専桜の生体糖化に対する有効性の検討 ～ *in vitro* における肌老化の制御効果～	川口　恵未
對馬惇史	アーク放電によるフラーレン合成法の検討	齊藤　貴之
永沢颯士郎	青森ヒバ抽出物の口腔病原性微生物に対する抗菌活性	山本　歩
中村駿之介	ヒト外毛根鞘細胞の単離および海藻由来成分の細胞増殖活性	川口　恵未
中山陽理	アルミナ担持ニッケル触媒による CO_2 のメタネーション反応	長谷川　章
三浦光陽	チタンジオレートを用いたチタン酸リチウムの合成	長谷川　章
三浦大典	自然界から分離した *Saccharomyces cerevisiae* の醸造特性の解析	山本　歩
山内女維	カシス抽出物のUVB誘発細胞毒性抑制機構の解明	山本　歩
山道優真	旋回流中二次流れを利用したアルミニウム溶湯中介在物分離に関する水モデル実験	新井　宏忠
ム　ル　ン	Synthesis and Evaluation of Electrode Material for Multivalent Ion Secondary Batteries	門磨　義浩

【環境都市・建築デザインコース】

学生氏名	卒業研究テーマ	指導教員
磯島亜花利	ガラス発泡軽量資材のコンクリートへの適用性検討に資する基礎研究	庭瀬　一仁
大下晏歌	小川原湖最深部の流速観測に基づく内部流動と混合現象に関する考察	藤原　広和
大矢桃花	Permanent measures of deposits for Hachinohe Port using renewable energy	南　將人
小田桐友萌	ゼオライトを混合した軽量コンクリートの開発に資する基礎研究	庭瀬　一仁
小野寺一馬	Calculation of wave power acting on the marine structure using CADMAS-SURF	南　將人
河原木康平	CFD of Flow Around a Bridge Cross Section With Handrails	丸岡　晃
工藤千紘	Removal of antibiotic resistant *Escherichia coli* using bacteriophage at wastewater treatment plants	李　善太
小寺　優	繰返し中空ねじり試験装置を用いた高拘束圧下における飽和硅砂7号の変形特性	清原　雄康
坂下翔悟	小川原湖における水温・塩分および藻類の関係について	藤原　広和
佐々木望来	Calculation of wave energy along the coast of Japan and changes over time	南　將人
高橋晃太	A Study on the Composite Deterioration Resistance of LPC-FA Concrete with Improved Initial Strength by C-S-H type Accelerating Admixture	庭瀬　一仁
高橋咲桃	異なる2箇所の下水処理施設における抗生物質耐性大腸菌の実態調査	李　善太
田中茉優	Modelling of elastoplastic constitutive equation using kinematic hardening law and simulation of cyclic triaxial test	清原　雄康
戸澤颯太	Experiments on directional characteristics of the over-topping power generators	南　將人
鳥谷部　舞	機械学習による耐候性鋼材の錆外観評価判別	杉田　尚男
中居由佳	繰返しせん断変形時におけるしらす土粒子摩耗量の定量的評価と地盤に及ぼす影響	清原　雄康
中島好望	下水処理施設におけるF特異RNAファージの各遺伝子群別の実態調査	李　善太
中田樹乃	機械学習を用いた冬期路面状況検知システムの検討	杉田　尚男
奈良図南	Prevalence of bacteriophages infected to *Escherichia coli*	李　善太
奈良悠斗	地域誌から見た釜石市の人口動態に与える要因	馬渡　龍
根城新太	宮城県沖地震における周期特性及び方向性の検討	杉田　尚男
野口龍馬	フォトランゲージによる震災復興景観イメージの評価について	河村　信治
馬場健斗	小川原湖における水温・塩分および藻類の関係について	藤原　広和
浜山千英	Advection-Diffusion Analysis Considering Wind Effects in Lampung Bay, Indonesia	丸岡　晃
張間　遍	Rainfall infiltration behavior in model embankment composed of Hachinohe Shirasu soil	清原　雄康
樋口こころ	機械学習を用いた冬期路面状況検知システムの検討	杉田　尚男
平川巧都	Deformation property of low confined 7th silica sand using cyclic hollow cylindrical test	清原　雄康
古林和樹	CFD of Flow Around a Bridge Cross Section With Handrails	丸岡　晃
松橋周平	機械学習による耐候性鋼材の錆外観評価判別	杉田　尚男
丸岡乃信	宮城県沖地震における周期特性及び方向性の検討	杉田　尚男
三浦瑛人	Wind-Driven Flow Analysis and Meteorological Data Analysis in Lampung Bay, Indonesia	丸岡　晃
三浦知也	津軽海峡の海流に関する観測値と流体解析の比較と観測値に基づく流体解析用境界条件の抽出	丸岡　晃
宮　也晋	Runoff Analysis in Niida River	藤原　広和
山田俊輔	ローコストGNSS-UAV観測システムの構築と運用方法の検討	藤原　広和
山本健太	震災前後の野田村前浜地区における海辺景観の変化について	河村　信治
大柳　諒	Research on passive design in wooden houses in Aomori Prefecture	金　善旭
熊谷風音	Restoration project of Hatsusaburo Yoshida's House "Chokanso"	馬渡　龍
嵯峨大成	地域型住宅グリーン化事業からみる青森県内の住宅生産体制に関する研究	金　善旭
四戸紀香	八戸市内の新築建売住宅からみる住宅特徴の分析	金　善旭
菅原忠壱	Attenuation of CO_2 in the classroom of National Institute of Technology, Hachinohe College	馬渡　龍
粒来桃子	A study on failure wind pressure of aged window glass based on numerical simulation	今野　大輔
林　太一	震災時における大規模集客施設の天井落下被害の傾向と分析	金　善旭
藤沢采可	A study on residual strength of window glass based on ring-on-ring test	今野　大輔
藤田峻輔	Behavior of CO_2 concentration in a fitness studio	馬渡　龍
簗瀬千尋	Facility usage in the integrated facility of the elementary and junior high school, Case of SANNOHE elementary and junior high school	馬渡　龍

専攻科生　祝・修了

専攻科修了おめでとうございます

専攻科長　丸岡　晃

専攻科修了おめでとうございます。本科・専攻科を過ごした八戸高専で様々な経験があったかと思います。楽しいことばかりではなく、厳しく辛いこともあったかもしれません。特に専攻科生の間はコロナ禍により前例のないことばかりでした。しかしながら、皆さんが乗り越えてきた様々な経験は皆さんの強みになって行くでしょう。皆さんがこれから歩んでいく道、ウィズ・アフターコロナ時代では、今までの「当たり前」は通じず、様々な変革が求められています。しかしながら、皆さんがこの７年間に培ってきた、課題設定・解決ができる高度な実践的・創造的技術者としての能力は、このような変革に順応でき、さらに、変革をもたらす力にもなっているはずと信じています。

最後に、保護者の皆様の御支援に感謝すると共に、皆さんのさらなる御活躍と御健勝を心から祈念して、お祝いに代えさせて頂きます。

専攻科修了を通じての成長

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース２年　石川　貴大

専攻科入学時に書かせていただいた高専だよりから振り返るとあっという間の２年間でした。コロナ禍によるオンラインでの自宅授業から始まり、感染症対策を徹底した学校生活やオンライン学会発表など、環境が目まぐるしく変化してきた２年間でしたが、状況への適応力やグループワークによる積極性、より専門的な知識・技術の習得といった多くの経験を得ることができ、より大きく成長できた２年間でもあると実感しています。

最後に、ご指導いただいた井関先生およびご協力いただいた先生方、手厚いサポートをして下さった高専関係者各位、私たちをご支援下さった保護者の皆様、専攻科を代表して深く御礼申し上げます。就職先でも高専で得た知識と経験を活かし、社会に貢献できる技術者を目指して邁進して参りたいと思います。７年間、本当にありがとうございました。

専攻科特別研究発表会表彰者

最優秀賞　研究活動を通して

産業システム工学専攻
マテリアル・バイオ工学コース２年　京谷　悠里

この度は、専攻科特別研究発表会にて最優秀賞に選出いただき、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。この栄誉は私個人の力ではなく、菊地先生をはじめとし、ご指導いただいた先生方のお陰であると実感しております。机上の知識を研究にて再現し、新たな知見を得る過程は非常に面白く４年間の研究活動も一瞬であったと感じています。大学院では他分野の研究へ従事しますが、高専で得た知識や技術を活かし視野をより一層広げられるよう努めて参ります。

優秀賞　この研究にめぐり逢えて

産業システム工学専攻
電気情報システム工学コース２年　津内口夕奈

この度は優秀賞に選出していただきまして誠にありがとうございます。諸事情により今年度から始めたテーマでしたが、工学や研究が不向きだと感じていた私にとって、初めて自分で考え、楽しさを見出すことができた研究でした。そのため、この研究で受賞できたことを本当に嬉しく思っています。ここまでご指導いただきました細川先生、佐藤先生をはじめとした先生方、ろぼっと娘をはじめ、御協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

優秀賞　研究活動を経て

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース２年　石川　貴大

この度は、専攻科特別研究発表会におきまして優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。学生最後の発表でこのような賞を頂くことができ、誠に嬉しく思います。ご指導をいただいた井関祐也先生をはじめ、ともに研究に取り組んだ熱工学実験室の皆様にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

就職先でも、これまでの研究活動で得た経験を生かして、医療機器開発に取り組んでいきたいと思います。

優秀賞　研究活動を通して

産業システム工学専攻
環境都市・建築デザインコース２年　工藤　拓也

この度は、専攻科特別研究発表会におきまして優秀賞に選出していただき、誠にありがとうございます。このような賞をいただけたのも、ご指導をいただいた庭瀬先生をはじめとする多くの先生方や研究室メンバーなど、様々な方のご協力のおかげであり、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

研究活動を通じて、専門性の高い知識を身に付けられたのみではなく、学会発表など多くの貴重な経験を得ることができました。これまで得られた知識や経験を活かし、今後も精進してまいりたいと思います。

令和３年度 八戸工業高等専門学校 専攻科特別研究テーマ一覧表

【機械システムデザインコース：AM】

学生氏名	テ　ー　マ	指導教員	備　考
石　川　貴　大	超音波画像撮像時における体動キャンセリングアルゴリズムの構築 Construction of a Motion Cancellation Algorithm for Ultrasound Imaging	井関　祐也	特別研究 優秀賞
角　澤　圭　亮	筋固縮定量評価装置の開発 Development of Muscle Rigidity Quantitative Device	黒沢　忠輝	

【電気情報システム工学コース：AE】

学生氏名	テ　ー　マ	指導教員	備　考
太　田　雄　大	サーミスタを用いた皮膚ガン診断システムの加熱時間，電力の検討 A Study of Heating Time and Power for Skin Cancer Diagnosis System Using Thermistors	野中　　崇	
髙　橋　駿　平	低周波磁界のリアルタイム推定と効果的な可視化に関する研究 A Study on Real-Time Estimation and Effective Visualization of Low-Frequency Magnetic Fields	佐藤　　健	
津内口　夕　奈	女子生徒の学習動機づけを目指した技術・家庭分野融合型プログラミング学習ロボット教材の開発に関する研究 Technology and Home Economics Integrated Programming Learning Robotics Materials for Improving Female Student's Learning Motivation	細川　　靖	特別研究 優秀賞
戸　田　琢　海	補聴器用ハウリングキャンセラ研究プラットホームの構築 Building a Platform to Research Howling Canceller for Hearing Aids	工藤　憲昌	
中川原　拓　海	深層強化学習を用いた足場配置計画による６脚ロボットの歩行動作獲得 Walking Motion Acquisition of Hexapod Robot by Foothold Placement Planning Using Deep Reinforcement Learning	釜谷　博行	
三　浦　拓　弥	機械学習を用いた簡易電磁界メータによる電磁界分布の可視化 Visualization of Electromagnetic Field Distribution Using Machine Learning With a Simple Electromagnetic Field Meter	佐藤　　健	
山　一　竜　光	ミアンダコイルを用いたワイヤレス電力伝送におけるキャンセリングコイルによる位置特性の改善 Improvement of Position Characteristics by Canceling Coil in Wireless Power Transmitter With Meander Coil	野中　　崇	

【マテリアル・バイオ工学コース：AC】

学生氏名	テ　ー　マ	指導教員	備　考
京　谷　悠　里	多脂環構造酸二無水物から誘導される無色透明ポリイミドの合成と特性 Synthesis and Properties of Colorless Polyimides Derived from Polyalicyclic Acid Dianhydrides	菊地　康昭	特別研究 最優秀賞
佐　藤　智　哉	トリエチレングリコールを用いたP3HT粒子の簡易作製法の検討 Examination of Simple Method for Producing P3HT Particles Using Triethylene Glycol	門磨　義浩	
中　島　捷　吾	ビスフェノールA除去機能を有する機能性高分子膜の開発 Development of Functional Polymer Membranes with Bisphenol A Removal Ability	菊地　康昭	
中　野　広　大	Cu配線向けノンシアンAuめっきプロセス Non-cyanide Electroless Gold Plating Process for Copper Circuit	松本　克才	
中　村　日向子	自然から単離した野生酵母のビール醸造への利用を目指した特性分析 Suitability of Wild Type *Saccharomyces cerevisiae* Isolated from Natural Source for Beer Brewing	山本　　歩	
藤　原　夏　美	銅の溶解挙動に対する添加剤および表面処理の効果 Additives and Surface Treatment Effects on Copper Dissolution Behavior	松本　克才	
守　　光　太	非球形気泡における介在物の気泡付着除去効率 Bubble Flotation Efficiency of Inclusions for Non-spherical Bubbles	新井　宏忠	

【環境都市・建築デザインコース：AZ】

学生氏名	テ　ー　マ	指導教員	備　考
織　笠　歩　夢	多角形の斜面を有する越波式波力発電装置の越波流量に関する実験 Experiments on Overtopping Flow Rate of Wave Power Generators with Polygonal Slopes	南　　将人	
上原子　慧　悟	二段型越波式波力発電装置の越波流量に関する数値計算 Numerical Calculation for Overtopping Flow Rate of Two-Stage Type Overtopping Wave Power Generators	南　　将人	
工　藤　拓　也	C-S-H系硬化促進剤によるLPC-FA系コンクリートの初期強度改善に向けた基礎研究 Basic Study on the Improvement of Initial Strength of LPC-FA Concrete by C-S-H Type Accelerator	庭瀬　一仁	特別研究 優秀賞
髙　野　　伶	各種ゼオライトの放射性廃棄物処理施設人工バリアへの適用性に関する基礎研究 Basic Study on the Applicability of Various Zeolites to Artificial Barriers for Radioactive Waste Treatment Facilities	庭瀬　一仁	
畑　中　亮　祐	非線形移動硬化則を用いた飽和硅砂７号の液状化挙動予測 Prediction of Liquefaction Behavior on 7th Silica Sand Using Nonlinear Kinematic Hardening Law	清原　雄康	
三ツ木　祐　貴	断面辺長比５矩形断面の静的空気力に関するRBVMS法の解析条件の検討 Consideration of Analysis Conditions for the RBVMS Method Regarding Static Aerodynamic Force on Rectangular Cylinder With Side Ratio of 5	丸岡　　晃	
鶴　飼　大　地	近年の小川原湖の水質変化および水質・底質浄化材施用による水域環境改善の可能性について Characteristics of Water Quality in Lake Ogawara in Recent Years and Possibility of Improving Aquatic Environment by Applying Purification Materials	藤原　広和	

就職・進学体験記

就職活動体験記

マテリアル・バイオ工学コース５年　西田　華苑
（弘前市立津軽中学校出身）

私は、まず、八戸高専の就職情報検索システムでこれまでに本コースに来ている求人票を見て気になった企業を３社程絞りました。その後、ホームページやパンフレットを調べて、それぞれの会社の特徴や魅力を比較し、就活に臨みました。新型コロナウイルスの影響により、インターンシップや会社説明会、面接のすべてがリモートで直に会社の雰囲気や仕事を体感する事が難しかったですが、会社の方に直接メールしたり、会社説明会で積極的に質問をして、情報を集めました。そして、面接を受け無事に内定をいただきました。

私は就職活動をしてきて、不安に思った事を人に相談する事が大切だと思いました。結果、不安を自信に変えて面接に臨むことが出来たからです。大変な状況の中ですが、後輩の皆さん、就職活動を気負わず、自信を持って頑張ってください。

専攻科受験体験記

環境都市・建築デザインコース５年　粒来　桃子
（洋野町立中野中学校出身）

私は、専攻科環境都市・建築デザインコースの推薦入試を受験しました。私が専攻科進学を選んだ主な理由は、建築に関する視野を広げ、建物の強風に対する安全性の研究に取り組みたいと考えたからです。専攻科を受験するにあたり、TOEICの基準が設けられています。私は受験の準備が遅れ、３学年に進んでからTOEICを受け始め、提出期限間近に基準を超えるスコアを得ました。専攻科入試に限らず、TOEICのスコアは必要になるため、低学年のときから対策し、TOEICを受験することをお勧めします。また、資格の取得等は自己アピールの点においても重要な強みになるため、様々なことに挑戦していくことが重要であると思います。進路や受験について不安になっている方は先生や先輩に早めに相談し、対策を練っておくことで、余裕をもって受験に臨めると思うので頑張ってください。

大学編入体験記

機械システムデザインコース５年　齋藤　皐滉
（八戸市立大館中学校出身）

私は長岡技術科学大学機械創造工学課程に推薦入試で合格しました。低学年の頃は進学か就職かを全く考えておらず、席次も30位台でした。ですが最低限大卒の資格が欲しかったので、専攻科の推薦を考え、３年生頃から席次を気にするようになり、４・５年生では一桁の順位もとれるようになりました。しかしそれでも専攻科の推薦が厳しかったので、推薦枠を設けている大学を探しました。そして卒業後の就職状況などを考慮し、長岡技大を受験しました。技大の推薦入試は書類選考のみだったので、書く内容が重要です。志望動機などでは、旧帝大や他の地方国立大にはない技大ならではの特色を絡めて書くと良いと思います。また、書類には課外活動の欄があります。幽霊部員でもいいので、部活の籍は残しておくことをお勧めします。

受験は早めの行動が大事です。大変な状況ではありますが、後輩の皆さん頑張ってください。

大学院試験体験記

産業システム工学専攻
電気情報システム工学コース２年　太田　雄大
（八戸市立小中野中学校出身）

私は、東北大学大学院医工学研究科に学力試験で合格しました（医工学研究科は推薦試験不実施）。学力試験対策は先輩が残してくれた過去問をベースに、参考書の演習なども用いて勉強しました。今までの専門科目の総復習になるので、なるべく長い期間をかけて復習することが必要です。参考書は、半分は高専で使った教科書をそのまま、半分は入試HP記載の教科書を購入して利用しました。近年は入試HP記載の教科書で勉強しないと解きにくい問題が時々見受けられるので、第一志望であれば購入して対策することをお勧めします。

今回私は、進学志望の同級生が皆推薦で合格しており、誰にも受験勉強の相談をできずに苦労しましたが、その分勉強に集中することができ、自信をもって受験に挑むことができました。後輩の皆さんもできる準備は全て行い、自信をもって受験に臨めるよう、頑張ってください。

インターンシップ

▶経験談は貴重な情報

機械システムデザインコース４年　西山　　航
（階上町立階上中学校出身）

授業で得た知識がどのように活かされるのか、自分が興味を持っている業界はどのようなものか知りたく、私はファナック株式会社のオンラインインターンシップに参加しました。

業務体験では、事故を未然に防ぐ方法の検討や、NC工作機械やロボットの操作体験を通し、高専で得た知識が十分に活かせること、業務の難しさと楽しさを体験できました。

特に印象に残ったのは社員との座談会で聞いたお話でした。若手からベテラン社員までの様々な社員から、待遇のことや業務で大変なことなど、細かい情報を得られました。就活のアドバイスを聞けたことも良い参考になりました。

５日間、学校やインターネットだけでは得られない様々な経験と情報を得られ、就職についてより具体的に考えるための勉強になりました。自分が本当にやりたいこと、そのためにすべきことを考える良い機会となりました。

▶私のインターン

機械システムデザインコース４年　下村　友貴
（八戸市立根城中学校出身）

私は、前田道路株式会社のオンラインインターンシップに参加しました。内容は、業務内容の説明、社員講和、オンラインでの施設見学など、短い期間ながらも非常に充実していました。

特に印象に残っているのは、インターンシップ期間中に行われたグループワークです。私は、班長として、メンバーやアイデアをまとめながら、課題に対し、皆で協力して取り組みました。その際、メンバー間で様々な意見や考え方を共有していく中で、自分にはなかった視点や発想に触れることができ、未熟さを痛感しました。

私の専門は機械系なので、一緒に参加した土木建築を専攻している方たちに比べ、少し劣る部分がありました。だからこそ私は新鮮な気持ちで、そして何より他業界と機械系業界のつながりを深く感じるという、貴重な経験を得ることができました。

新型コロナウイルス感染症への対応

リスク管理室長　武尾　文雄

昨年４月以降、新型コロナウイルス感染症は５月の第４波、８月の第５波、そして年明けの第６波と、新規感染者数のピークを約８千人から２万５千人、そして10万人へと拡大しながら繰り返し日本を襲っています。

新型コロナ２年目となる今年度、本校は自宅待機学生への授業ライブ配信などを活用し、冬学期末の遠隔授業期間を除いてほぼ通常の対面授業を実施できました。また各種行事等についても、できるだけ平常に近い形で実施する可能性を探りながら対応を検討いたしましたが、上記のような国内の感染状況を受けて、残念ながら一部、部活動の制限、各種大会等への参加制限や県外移動の制限等の対応も取らせていただきました。各種様式への報告も、体調不良等の場合の【様式０】は約1350件、身近に検査対象者が発生した場合等の【様式７】は約400件となりました。

また昨年９月から10月にかけて、八戸市のご協力をいただき八戸市内の高等教育機関が連携してワクチンの職域接種を実施しました。学生520名、保護者88名、教職員・配偶者90名の計698名がワクチン接種を受け、これを含めて全学生の85％以上が２回の接種を終えています。なお、３回目のワクチン接種については、八戸市の実行委員会より前回同様の枠組みで実施する計画であるとの打診がありました。実施が決定した際には改めてお知らせいたします。

本校では今年度３名（２月８日時点）の感染者が発生しておりますが、いずれも家庭内における接触が原因とみられており、幸いにも校内での感染拡大には至っておりません。マスク着用や手指消毒などの基本的感染防止対策をはじめ、各種対策に対する学生、保護者の皆様、そして教職員のご協力のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

このような状況がいつまで続くのか見通すことはできませんが、本校では今後も政府や自治体の方針等を踏まえ、皆さんの安全を第一に考えながら学校としての対策を講じてまいります。皆様には、様々な場面でご不自由をおかけすることもあるかと存じますが、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自主探究オンライン ポスター発表会

４学期制実施部会　馬渕　雅生

コロナの蔓延が収束せず、令和２年度に引き続き、今年度も自主探究ポスター発表会はオンラインでの実施となりました。１月末にオンラインでの開催となることが決まり、そこから３週間弱で慌ただしく準備をすることになりました。２月は授業が遠隔となり、到達度試験と学力入試があって、教員も事務部も学生も、みな必死で走ってなんとか実施できたというのが実感です。発表会が無事開催できましたことを、この場を借りて、関係したすべての方々に御礼を申し上げます。

発表会は、21日は３年生、22日は２年生、23日は１年生が発表を行いました。１つの学年が４つのバーチャル会場に分かれ、発表が３分、質疑応答が２分の合計５分で発表を行いました。接続テストではトラブルが頻発したため、発表できなくなる学生がでてくることを心配しましたが、３学年まで、全員が発表をすることができました。学生のみなさんは、本当によくがんばったと思います。３分間の発表をうまくまとめ、自分の言いたいことを伝えることは教員でも難しいものだと思います。うまくいかなかったという学生は、今回の反省を今後に生かしてください。

今年度の自主探究活動では、コーディネーターと呼ばれる教員グループの指導の下で、ファシリテーターと呼ばれる４，５年生のグループが大変活躍をしてくれました。毎週のように行われたファシリテイティングアワーという活動は、彼らファシリテーターが後輩たちの相談に乗り、体験者としての視点から、後輩たちの探究の相談に乗るというものです。低学年生全員が報告書をまとめあげ、発表会で発表をすることができるようになったのは、まさに彼らのおかげと言えます。さらに、発表会が運営できたことも、３日間にわたる彼らの働きによるところが大きいです。１年間、どうもありがとうございました。

今回は、優秀発表への審査は、本校教職員と学生だけで行い、外部の方々には依頼しませんでした。主な優秀者は次のとおりです。紙面の都合で、奨励賞は割愛します（41名）。

【校長賞】

Ｍ３　山田　晟也

【学年最優秀賞】

Ｅ３　熊谷　大智
Ｃ２　柿崎　元徳
Ｌ１　セ　ー　フ

【特別賞】

Ｅ３　竹内　開徒、野口　優大、馬場　大誠（共同研究）
Ｃ２　瀧田　澄怜、中村ことみ（共同研究）
Ｌ１　林　　皇明

【国際自主探究最優秀賞】

Ｌ１　セ　ー　フ

【国際自主探究優秀賞】

Ｌ３　松島　里紗

【各学年の優秀賞】

Ｍ３　増尾　桃佳、Ｍ３　山田　晟也、
Ｍ３　カートゥーン、Ｅ３　竹内　開徒、
Ｅ３　野口　優大、Ｅ３　馬場　大誠、
Ｃ３　石屋　　優、Ｃ３　内城　辰稀、
Ｃ３　高畑　　碧、Ｚ３　橋本さくら、
Ｍ２　阿部　祐輔、Ｍ２　坂田　明優、
Ｍ２　沢田　咲樹、Ｍ２　下栃棚弘大、
Ｅ２　小笠原ゆい、Ｅ２　夏林　純英、
Ｃ２　瀧田　澄怜、Ｃ２　中村ことみ、
Ｚ２　小森　真奈、Ｚ２　嶋守　和夢、
Ｌ１　平　　湧翔、Ｌ１　林　　皇明、
Ｌ１　山田　楽久、Ｌ１　高渕　紗也、
Ｌ１　畑中百合愛、Ｌ１　プ レ ー ウ、
Ｌ３　小笠原涼太、Ｌ３　川口　翔哉、
Ｌ３　松島　里紗、Ｌ４　三浦　大清、
Ｌ４　八木橋夏響

最後に、体育館での発表会を楽しみにされていた方々、特に保護者のみなさま、来年度こそは体育館での発表会にご招待できますことをお祈りします。

退職するにあたって

高専での28年間

工藤　憲昌

平成６年４月に出身校である八戸高専に赴任して以来早いもので28年になりました。その年度は、12月に三陸はるか沖地震が起こり、その後暫定的な復旧工事、現在の校舎への新築工事が始まって、慌ただしく過ごしたことを記憶しています。

赴任するまで11年間民間企業の研究所に勤務しており、元部下と学生の年齢差もあって、当初は戸惑いがありました。専門は信号処理、高速電子回路などですが、情報処理、通信、制御など情報系全般を担当させて頂きました。また、クラブ活動では、鳴海寛先生と一緒にバスケットボール部の顧問をし、40歳代前半まで止せばいいのに(?)、学生と一緒にプレイをできたのは良い思い出です。幸いなことに東北地区大会で上位を維持し、何度か全国大会に行かせてもらいました。学生の皆さんが何かに集中して取り組んでいる時に、やや荒削りのところもありますが、ビックリするような面白い発想を生み出すところを何度も見てきました。まさに、学生の皆さんは「高価な宝石に富む鉱山」です。在学中の５年間を使って、この隠された高価な宝石を取り出し磨いていってください。

赴任以来28年の長きに渡って何とかやってこられたのは、教職員、学生、保護者の皆さんのご協力があってのことです。本当にありがとうございました。

35年間を振り返って

松橋　信明

昭和62年４月に赴任以来35年間、学生時代（E12回卒）の５年間を加えると計40年間を八戸高専で過ごさせていただき、なんとこれまでの人生の約2/3を八戸高専に関わってきました。

その間にクラス担任は計11回担当し、担任として一貫して実施してきたことは、ノートに自由に書くクラス日誌を一人一人交代で書いてもらって毎日私のコメントを書いて手渡すことと、成績通知表を送付する度に毎回保護者と学生のみなさん宛に同封した私からのちょっと長い手紙でした。退職後に、じっくりと読み直すのを楽しみにしております。

一番印象に残っている校務は、勤務年数の約1/3である計12年間担当した寮務委員です。ちなみに寮務主事の時から寮の池で飼っている鯉は12年目の今も元気です。また学生時代も５年間寮生活でしたので、まさに寮にどっぷり浸かってきたと言えます。

学生の皆さん、常に前向きな姿勢を忘れず、時々フィードバック制御をかけながら、自分の良いところを大いに活かして、地道な努力を忘れず、一歩一歩前進して下さい。地道な努力は必ず報われます。そして、更なる成長を目指して、最善を尽くしましょう。そうすれば必ず道は開け、きっと人生を豊かで幸福なものにしてくれるでしょう。

長い間本当にどうもありがとうございました。皆様に心から深く感謝申し上げ、定年のご挨拶とさせていただきます。

遅まきの出発から21年

戸田山みどり

2001（平成13）年４月に、英語担当教員として赴任しました。大学で非常勤をしながら遅まきに入学した後期博士課程の３年間が満期退学となり学位取得見込みでの採用で、名古屋に夫と高校１年の次男を置いての初めての一人暮らしでした。

授業ではしばらく科学英語の基礎などを担当していましたが、次第に国語科目が増え、現在では１年生の「ものづくり基礎」という社会科的な科目も担当するなど、日々、勉強しながら取り組んできました。おかげさまで学生からは、「専門は何ですか」と尋ねられることもあります。

部活の顧問としては主に演劇部を担当しました。高校の文化部の大会を目標に活動し、これまでに２回、青森県の代表２校のうちの一つとして東北大会に参加することができたのは、ひとえに素晴らしい部員の皆さんのおかげだと思います。

2012（平成24）年度からは、新規の男女共同参画委員長を承り、先行する他大学の先生方から多くのことを学ぶ機会を得ることができました。また2018（平成30）年に設置されたキャリア教育・支援センター長として、学生の卒業後のキャリア、特に進学に向けた支援の体制づくりに関与できたことは、貴重な経験でした。

いろいろなことを学びながらなんとか定年を迎えることができましたのは、多くの方々に支えられたおかげです。皆様ありがとうございました。

支えられて

綿矢　憲之

昭和55年４月、富山医科薬科大学（現富山大学）に採用となり、この３月に八戸高専勤務を最後に定年退職いたします。

42年間、国家公務員（現法人職員）として、計８か所の機関で教育行政に携わり、多くの方々の支えをいただきここまで勤め上げることができました。本当に感謝としか言いようがございません。

振り返ってみますと、様々な出来事がよみがえってきますが、なぜか苦労したことばかりが先に出てきてしまいます。でも、それを乗り越えてきたからこそ思い出されるのかなという印象です。

特に秋田大学病院在任中は東日本大震災に見舞われ病院機能が麻痺しかねない状況に遭遇しました。そのような困難の中、全教職員の献身的な対応により、診療を止めることなく病院として社会的機能を維持させることができました。

今は新型コロナへの対応ですが、本校はそのような状況下でも、教育機関としての使命を十分果たしており、今後も続いていくものと信じております。高専が社会から求められるものは多岐にわたります。これからもその要望に応えるべく、地域に根ざした魅力ある八戸高専であってほしいと願っております。

今後の益々の発展を期待しております。

どうもありがとうございました。

感　謝

伊藤　光博

昭和56年に岩手大学に採用され、平成９年に八戸高専へ転勤となり、昭和から令和に渡る41年間を高等教育の現場に携わり、それぞれの職場での数々の出来事が思い起こされます。

顧みますと、岩手大学では内外燃機関、燃焼機器の実験を担当しておりましたが、採用当初、ガスタービンエンジンの実験にて大きな騒音に驚愕したことや研究室学生と徹夜で実験を行ったことが懐かしく思いだされます。

八戸高専では、校内情報ネットワークの運用管理と一部実習の担当へと業務内容が大きく変わりました。

赴任当初、情報ネットワークの運用管理に付随した業務内容が広範囲であることに驚きを隠せなかったことが、今でも鮮明に思い出されます。また赴任して間もない時期に不正アクセスを受けたことや、海外からの大量の迷惑メール受信事案などの対応に苦心したことなど、今となってはいい思い出です。

最後になりますが、ここまでの道のりを歩むことが出来たのは、教職員の皆様のお力添えがあってのことと心から感謝しております。

ありがとうございました。

新任教職員紹介

①氏名　②出身地　③所属・職名　④前職

①信太 裕二朗（しだ ゆうじろう）
②秋田県三種町
③総務課付一般職員
④新卒採用

2021年11月１日付けで八戸高専に採用されました信太裕二朗と申します。出身は秋田県三種町ですが、高校時代は隣町の能代市で生活しておりました。大学時代は北海道函館市で、英文学や社会学を中心に勉強しておりましたが、卒業研究では映像研究をしました。

入職してはや４カ月程となるものの、未だに自身の発信力と行動力に経験の浅さを感じる時があります。しかしながら、日々教職員の方々からご支援・ご指導いただける環境に感謝して、業務に励みたいと考えております。

日々業務に携わっていく中で得られる学びと刺激を大切に、八戸高専に微力ながら貢献していく職員を目指す所存でございます。教職員の皆さま、今後ともご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

教務関係のお知らせとお願い

教務主事　長谷川　章

○令和４年度行事予定について

令和４年度は、春、夏、秋学期は、講義や実験実習を中心とした授業編成を行い、冬学期に自主探究活動期間を設けております。また、冬学期の午前中は、講義を、午後は自主探究活動に打ち込めるように時間割編成をいたします。これによって、年間を通じた自主探究活動が可能になり、低学年では、ファシリテイティングアワー等を利用してテーマ設定から研究方法の検討、研究活動、そして２月のポスター発表まで、学生と教員が情報共有する仕組みとしております。このような取り組みにより自主探究活動の内容をより深められるよう指導して参ります。

なお､新型コロナウィルス感染状況によっては、行事予定を変更する場合がございますのでご了承ください。

○単位修得状況の確認

本校では、進級や卒業の要件を学生便覧に記載しております。この中に、進級、卒業に必要な総修得単位数、一般科目の修得単位数の他、実験・実習などの「審議対象科目」、卒業までに必ず修得しなければならない「必得科目」などの規定があります。特に「必得科目」は、仮に５年生に進級しても未修得単位がある場合、卒業することができません。

今年度より学生自身が修得単位数を確認出来るファイルを配布しています。成績表が届きましたら学生自身が点数を入力することによって単位修得状況が確認できます。また、保護者におかれましては、成績通知をご確認いただき不可科目がある場合には、次年度の再試験で必ず回復するようにご指導ください。

○英語学習にについて

本校では国立高専機構の「グローバルエンジニア育成事業」の採択を受け、国際的に活躍できる技術者に必要な英語力の向上を図る事業を推進しております。本事業の一貫として、令和２年度以降の入学者より、２年生で受講する英語ⅡＢ、令和５年度以降４年生で受講する英語演習Aについて、それぞれ実用英語検定準２級、TOEICスコア400点以上を単位修得の要件としております。もし、要件を満たさなかった場合には、冬学期に実施されるグローバル・ラーニング・センターの補講受講が義務化され、ここで行われる模擬試験等の合格が単位認定の条件となります。

さらに専攻科出願要件にTOEICスコアを導入しております。令和５年度入学者には450点以上、６年度には500点以上が出願要件となる予定です。

このように本校では英語教育に関してハードルを設けておりますが、今年度の２年生の大多数が英検準２級に合格しております。また、学生の皆さんの熱心な取り組みが評価され、英検合格者が極めて多い団体に贈られる「文部科学大臣賞（団体の部）」（全国で７団体）を受賞いたしました。なお、同賞は３度目の受賞となります。

本校では、グローバル・ラーニング・センターの設置、英検・TOEICの指導など英語能力向上の取り組みを行なっております｡令和４年度には、３、４年生全員を対象としたTOEIC　IPテストの実施も計画しております。学生の皆さんには、引き続き英語力の向上に取り組んでいただきたいと思います。

○授業を欠席する場合の連絡について

学生の安全確保の観点より、学生の出欠状況を正確に把握することは重要です。学校に連絡なく欠席している学生に対して、学級担任から本人へ連絡を行い、本人に連絡がつかない場合、保護者に連絡して学生の所在確認を行なっております。

１～３年生の通学生が欠席する場合、保護者より朝８時から８時20分までに学生課教務係（0178－27－7234）に電話連絡してください。さらに学年に関わらず学生本人からMicrosoft Formsによる連絡をいただくことになっております。

厚生補導委員会から

学生主事　阿部　　恵

◆クラブ活動について

今年度も部活動におけるコロナ感染症防止対策の徹底にご協力くださりありがとうございました。

長引くコロナ禍の中で、開催が延期となり、実施が危ぶまれましたが、多くの方々のご理解・ご支援のもと、本校を主幹校とし、第56回全国高等専門学校体育大会を実施することができましたこと、心よりお礼申し上げます。部活動の練習時間の短縮や一時休止、他校との練習試合の自粛などの制限がある中、学生たちは最後まで諦めることなく、持っている力を存分に発揮しました。

コロナ禍において、予断を許さない状況が続いており、今後も急遽変更が生じる可能性もございますが、学生生活における新しい生活様式へのご理解・ご支援の程、引き続きよろしくお願いいたします。

◆インターネット等の利用について

インターネットやスマホ等は私たちの生活に欠かすことのできない便利な機能を持つものになっています。安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものですが、長時間使用による生活習慣の乱れや不適切な利用による「ネット依存」等の様々な問題が指摘されています。生活習慣が乱れると、心身の健康状態の悪化をもたらします。また、インターネット上の誹謗中傷が深刻な社会問題となっております。

本校では、学生の生活習慣の改善支援を目的に、低学年対象に生活チェックシートや生活の振り返りワークショップを実施しました。また、人権尊重への理解を深めるために人権啓発ビデオを上映しました。

学生たちが被害者や加害者にならないために、学校と家庭が一体となって情報モラル教育を推進することが必要です。ご家庭でも、スマホ等の適切な使い方について、引き続きご指導くださいますようお願いいたします。

◆令和３年度ワークショップ（WS）・講演会

ワークショップ

【生活チェックWS】（１－３年生）
期日：令和３年10月５日～12月16日
講師：松井　康博　保健室長

講演会

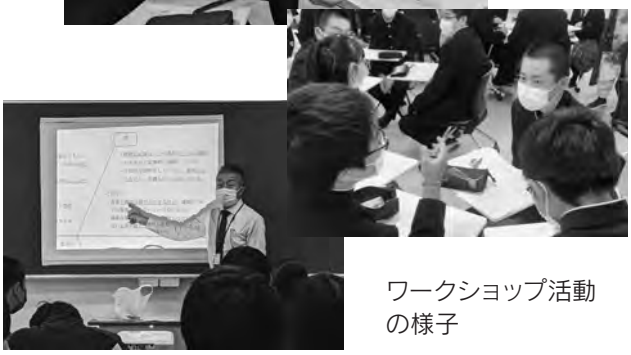
【いじめ防止講演会】（１年生）
期日：令和３年10月26日
講師：青森県教育庁学校教育課
総括主幹　黒滝　和代 氏
青森県警察本部生活安全部
被害少年対策官　長利　真至 氏

【飲酒運転防止講座】（５年生）
期日：令和３年11月１日、５日
講師：八戸地区交通安全協会　大丸特久剛 氏

【交通安全講話】（３年生）
期日：令和３年11月４日、17日
講師：八戸地区交通安全協会　大丸特久剛 氏

【薬物乱用防止講演会】（２年生）
期日：令和３年11月８日、15日
講師：八戸警察署生活安全課
上村由美子 氏、大下　　歩 氏

【性に関する講演会】（１年生）
期日：令和３年11月９日、11日
講師：あおもり女性ヘルスケア研究所
所長　蓮尾　　豊 氏



ワークショップ活動の様子

北 辰 寮 か ら

寮生活と新棟建設について

寮務主事　松本　克才

日頃は北辰寮の運営・活動にご協力いただき、有難うございます。本年度の学生寮も、コロナ・オミクロンで振り回されてしまいました。種々の対策をし、不自由な生活を強いてしまっていますが、これも皆さんが健康に学業生活を送ることができるように配慮したものですので、ご理解をいただきたく思います。

さて、今年４月からはＥ棟に加え、混住型国際寮のＩ棟に入居できるようになります。混住型国際寮では、少人数でのユニット制をとり、留学生が一緒に住むユニットで個室になります。ユニットリーダーになった寮生には、将来、組織のリーダーになるための準備・訓練ができる教育効果を期待しています。また、秋にはＮ棟も完成し、本格的な運営を開始したいと思っております。基本的には自主性を高め、責任感を持って行動できるよう教育する寮になりたいと思っております。

Ｎ棟完成の際には、再入寮のご案内をさせていただきますので、今回入れなかった学生も含め、是非、入寮の検討をお願いいたします。

保護者の皆さまにおかれましても、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解いただき、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国際寮

電気情報工学コース５年　バトバヤル ソロンゴ(ソコ)

私は国際寮に入寮し、３年目を迎えました。新しい国際寮が工事のため、入寮ができなかったが、今、不便なく生活しています。しかし、長い休みの時に学寮閉鎖となり、女子たちは引越しする必要がないですが、男子たちが休みごとに引越しする必要があり、少し大変だなと考えました。国際寮の工事が終わったら、そこに入寮し、男子の皆が何度も引越しする必要がなく、充実した寮生活が送れると思います。

国際寮は留学生たちと日本人の学生たちが一緒に生活するということでお互いに助け合い、異文化にも触れることができ、色々なことが学べる良い環境となっています。今年度は５年生という最後の年でもあったため、それを活かしてより楽しく有意義な国際寮生活を、と考えていました。しかし、新型コロナウイルスの感染がまだ続いているため、コロナ対策として皆との接触はなるべく避けている状況です。このような状況でも寮生活の中で対策をしながら、皆で楽しく寮生活を送っています。

今年度も環境面で厳しい状況が続いていましたが、国際寮に４人の新しい留学生が加わり、メンバーが増えました。これから国際寮で生活していく後輩たちが素敵な国際寮生活を送れるようにコロナの早い終息を願っています。

新総代挨拶

電気情報工学コース４年　橋本　正彦
（青森市立東中学校出身）

みなさんこんにちは。新総代になりました電気情報工学コース４年の橋本正彦です。この度、たくさんの方々から応援していただきありがとうございました。寮生全体が快適に過ごしやすい雰囲気づくりのために努めてまいりますので皆さんもご協力お願いいたします。

寮に入った当初は、慣れない環境の中で生活していくことに不安がありましたが、同年代の人や頼もしい先輩方と交友関係を持ってからは毎日楽しく過ごしています。今では寮に入ってよかったと思います。寮は、寮生同士で信頼関係が築け、先輩方や友達からいろんな刺激をもらい、自分自身が成長できる場所です。寮生にしかできない経験は貴重なものであり、この寮での経験は社会に出てから様々な場所で必ず生かすことができます。

現在新型コロナウイルスの影響で様々な制約がされている中での生活の日々が続いています。その中でも皆さんがコロナ感染対策をしたうえで寮祭や球技大会などの行事を楽しめるように計画を立てています。みんなで楽しい寮生活を作っていきましょう！

新女子寮棟長挨拶

環境都市・建築デザインコース４年　葛西　綾乃
（青森市立西中学校出身）

2022年より、新しく女子寮長になりました環境都市・建築デザインコース４年の葛西綾乃です。

私は入寮し約４年が経ちますが、他人と共同生活を送るということは想像以上に大変なことだと感じています。円満で快適な共同生活を送るためには他者を気遣い、お互いに譲り合うことが大切です。困ったときは、迷わず室長や指導寮生など頼れる人に相談してください。必ず力になってくれると思います。

寮での様々な経験は、学校で教わることのできない、人として大きく成長できるものと思います。また、学年を超えた繋がりを持つことが出来るのが、寮生活の良い点です。ここで得る繋がりは、きっとこれからの人生にとってかけがえのない財産になると思います。

私は、今までの寮生活で得た経験や、お世話になってきた先輩方の教えを活かし、後輩に寄り添い、親しみやすい棟長になりたいと思っております。困ったことがあれば気軽に話しかけてください。１年間、よろしくお願いします。

令和3年度　柔軟に国際交流

国際交流センター長　横田　実世

今年度も新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大により制限された中での国際交流活動となりました。しかし昨年度と異なり、コロナに対し、現状を受け止め共存する方向へ意識転換してきました。また、今まで当たり前にできていたことができない環境を経験することにより、ワクチン接種後の感染状況が落ち着いて、友達と会って話をしたりできるようになると「素朴なこと」に対する楽しみや感謝の気持ち“appreciation”が芽生えたのではないかと思います。出来ることひとつひとつを大切にして、学ぶ機会“opportunity”を最大限活用していただきたいと思います。以下は今年度の国際交流やグローバルエンジニア育成に向けて実施した行事です。是非参考にしてください。

１．オンラインによる交流・講座等

今年度はオンラインで21名の本校の学生がネパールの学生と異文化交流を計４日間行いました。初日は緊張した様子でしたが、日を追うごとに積極的に発言する姿が見られました。交流をとおして、相手の文化を理解し、自国の文化を英語で説明できるようになりました。「物怖じせずに話せるようになった」「言葉の壁を越えて伝える楽しさを知った」など、学生自身も成長を実感したようです。また高学年生対象のプログラムでは、ファシリテーター養成講座を実施、昨年の受講生にはフォローアップ研修を行い、将来グローバルリーダーとして社会でも活躍できるよう取り組みました。

ネパールとのオンライン交流の様子

２．TOEIC-IP対策

昨年度から導入された新カリキュラムにより、3・４年生の英語の授業の一部にTOEICを導入しています。また、冬学期にIP試験対策講座を計10回実施し、多くの学生が積極的に参加しました。本来であれば２月にIP試験を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施を見送りました。昨年度のデータ分析では、やはり早くから勉強に取り組むことでスコアが伸びている傾向があります。TOEICは日本のキャリア進路で必要となる英語力の指標です。ギリギリまで待たずに早いうちから学習に取り組みましょう。

“Don't wait until the last minute.”

TOEIC-IP 試験対策講座の様子

３．グローバル講演会：“SDGs”

自主探究の課題発見とテーマ設定に頭を悩ませる学生は少なくありません。自主探究につなげるプレトレーニングとして、今年度もこども国連環境会議推進協会事務局長の井澤氏によるオンライン講演会を１年生対象に行い、SDGsの基本理念について理解を深めました。現時点における世界的課題に向き合うことにより視野を広げ、自身の探究活動を学内のみにとどめず、学外及び国際舞台へ向かう意識づけとなりました。来年度、さらに深い探究に繋がることを期待しています。

自主探究プレトレーニングの様子

４．教職員の取組み：“We are also working on it.”

今年度も教職員向けのオンライン英会話を実施し、英語力向上のため学習に取り組みました。その他にも、本校仕様に作成されたアリゾナ大学英語力向上プログラムを受講し、グローバルエンジニア育成に関わる教職員の意識改革、英語力向上にも取り組んでいます。

留学生だより

国際交流センター 副センター長　吉田　雅昭

今年度は、新１年生としてタイから２名、モンゴルとボスニア・ヘルツェゴビナから３年生として各１名が入学し、本校全体の留学生数は合計13名となりました。現在建設中の新寮完成とともに、来年からは、新１年生がタイから４名、３年生としてインドネシアとラオスから各１名が入学予定です。これで、本科全学年に留学生が在籍するため、今まで以上にますます国際色豊かな高専になります。クラスでは英語や日本語をはじめ、その学生の母国語にも触れる機会も多くなります。どうか恥ずかしがらずにコミュニケーションをとり、積極的に友達関係を築いてください。これにより、自主探究のテーマ発見や海外留学などに踏み出すきっかけになるかもしれません。国際交流センターでは、以下のようなイベントなども企画しております。皆様、奮ってご参加ください。

L1 留学生歓迎会の様子

●留学生のための日帰りバス遠足

去る10月30日(土)に留学生と日本人学生総勢24名で紅葉の奥入瀬渓流および十和田湖散策に出かけました。コロナ感染防止対策で人混みを避けるため、紅葉が終わる時期に遠足を設定しましたが、幸運にも紅葉は見頃となりました。当日は、天候にも恵まれ、定番の観光スポットである乙女の像、さらに十和田神社まで足を延ばす学生もおり、インスタ映えする写真や動画をたくさん撮影していました。

遊覧船乗り場付近での集合写真

●ホームステイなどのお願い

先行き不透明なコロナ禍で、留学生は来日以降、帰国も果たせず、寮と校舎の往復が多くなっております。八戸高専では今後も留学生を増員することで国際展開・グローバルエンジニア教育に力をいれていきます。すでにホームステイなど留学生との交流などご支援いただいた保護者・関係者の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今後も、ホームステイ、日帰り旅行など留学生と一緒に楽しめる企画などのご提案がありましたら、国際交流担当教員吉田または本校総務係（yoshida-g@hachinohe-ct.ac.jp　somu-o@hachinohe-ct.ac.jp）までお知らせください。皆様のご協力をお願い致します。

相談室から

相談室長　河村　信治

コロナ禍で人と人の交流に制約の多い日常が長期化しています。このような状況下で、心身あるいは人間関係に何らかの不調が生じてしまうのは無理のないことと思います。最近の学生の悩み相談の傾向として、友人や家族との心理的距離の課題が多いように見受けられます。「物理的距離」の影響で他者との関係が疎遠になり孤立が心配される一方で、特定の相手との「共依存」的関係の連鎖で傷ついたり傷つけたり（そこにSNSの使用も絡む）といった状況での悩みの訴えが目立ちます。相手を尊重しつつ適切な距離をとって付き合えれば良いのですが、仮に自覚できても自分で克服し難いのが問題の常です。辛さが酷くならないうちに専門家のカウンセリングを受けるのも、相手と自分を大事にする賢明な一つの方法です。

それ以外にもあらゆる心身の変調や悩みのある学生に対して、相談室ではカウンセラー等による支援を行っています。保護者の方でもお気軽にご相談ください。相談室は春休み中も通常通り開室しています。相談がある場合は、電話かメールで保健室または相談員（担当の教員）にお問い合わせください。カウンセリングを希望する場合は、日時を予約いただいての対応になります。本校ホームページにカウンセラー等の来校日が掲載されていますのでご確認ください。相談は原則として「対面相談」で行います。

また家庭や学外などでトラブルが生じた場合には、社会福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）にご相談ください。

いずれの場合も秘密は守られます。

詳しくは、インテーカー（窓口）にお問い合わせください。℡ 0178-27-7236

◎八戸高専　相談室ホームページ

https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0800-000-2228もあります。（受付時間：24時間365日）

男女共同参画10年のあゆみ

男女共同参画委員長　戸田山みどり

本校に男女共同参画委員会がおかれたのが2012（平成24）年でした。当時、女子学生は増加傾向にあったとはいえ、直前の３月に卒業した学生170名のうち女子学生は18.8%でした。女性教員もまだ５名で、女性教員を増やす、ワークライフ･バランスを浸透させる、女子学生を支援する、と言っても、何から手をつければ良いかわからず、とりあえず外部の勉強会に積極的に参加して学ぶことしかできませんでした。幸い、その翌年から岩手大学が主管するJSTの女性研究者支援事業の仲間に入れていただき、様々な講演会やイベントへの参加の機会が増えました。現在では本校でも男女共同参画の必要性は認識されてきています。

現在、本校の任期なし女性教員は８名、特命教員を含めると10名になりました。女子学生の比率は本科の平均28.2%、専攻科も18.6%です（Ｒ３年度４月１日現在）。

岩手大学の女性研究者支援事業は2016年に後続のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブという枠組みとして継続し、今年度で終了になります。その間、本校でも外部から女性研究者を招いてのロールモデル講演会や地域の女性研究者同士の交流を図る研究交流会を実施してきました。2019、20年度は新型コロナ感染症のために断念しましたが、今年は３月８日に東京大学教授大島まり先生（2017年機械学会会長）をお招きして、オンラインに変更になったとしても実施する予定です。

もう一つの大きな目標である裾野拡大としては、昨年度から今年度にかけて、女子中高生の理系進路選択支援事業として力を入れてきました。新型コロナ感染症の状況を睨みながらで予定通りにはできませんでしたが、11月に青森市内で行われたサイテック･フェスin青森では大勢の中学生と保護者の皆さんに参加していただき、理系の楽しさをご理解いただけたのは幸いでした。さらに、「ろぼっと娘」の活躍は、地元紙にも度々取り上げられ、参加している女子学生自身の糧にもなっています。

今後は、より広い視点からダイバーシティ推進のための情報発信に努めていきたいと思います。

支援と応援：キャリア･センターの2つの役割

キャリア教育・支援センター長　戸田山みどり

キャリア教育・支援センターも発足以来４年が経とうとしています。担当している内容は、１年生からのキャリア教育全般、低学年学生の学習支援、進学希望者の受験対策などになります。

キャリア教育の重要な柱として、各学年対象の説明会を実施してきました。特に、低学年に対しては、卒業の前に進級というハードルがあることを意識してもらえるよう努めています。また、今年も全１年生対象に、豊橋技術科学大学の出前講義「自然に学ぶものづくり」を実施し、ものづくり基礎の授業と合わせて、工学に対する興味とともに将来の展望を持てるようにしています。

昨年度から始まった１-２年生の数学基礎学習セミナーは、２年目でようやく実施方法が安定してきました。この冬学期から、前学期の数学の成績が60点未満の学生に対して、セミナー受講を補充試験の受験条件とする方針を徹底し、年度内に単位が取れるように指導することになりました。今後は、学習到達レベルの保証として、基礎学習セミナーの役割は一層重要となるでしょう。

進学を希望する学生に対しては、受験対策説明会、進学予定者による報告会、各大学の説明会、希望者対象のTOEIC IPや数学･英語の模擬試験の実施、編入試験の内容に関する数学や英語のセミナー、進学希望者全員の面談、数学・英語・小論文などの個別指導、など、ほぼ昨年度と同じような内容で進めています。新型コロナ感染症の影響でオープンキャンパスなどの大学の現地訪問はかないませんでしたが、オンラインでの説明会などで、情報提供するように心がけてきました。

その結果が実を結んだのか、今年の卒業予定者に占める進学者の割合は50%を超えました。おそらく本校の歴史始まって以来です。本センターが発足した当時２年生だった彼らは、東北大学の先生による講演会や研究室訪問などを経験することで、関心が高まったのかもしれません。現４年生の進学希望者は55%を超え、３年生も進学に興味のある学生は50%を超えています。今後は、その希望をかなえる役割がますます期待されていくでしょう。

ブックハンティング実施報告

令和３年７月19日（月）に八戸ブックセンターにおいて、ブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員が中心で、自然科学、技術工学、小説などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

◎ブックハンティングでの選書の一部紹介

書　　名	著者名
シンギュラリティ	神崎 洋治
フィルターバブル：インターネットが隠していること	Pariser Eli
東大生の本の「使い方」	重松 理恵
幸せになる勇気	岸見 一郎
マインドフルネス	蓑輪 顕量
わたしの心が傷つかないように	ソルレダ
なっとくする数学記号：π、e、iから偏微分まで	黒木 哲徳
ゼロからよくわかる力学の超入門書	ニュートンプレス
世界史は化学でできている	左巻 健男
完全図解元素と周期表	ニュートンプレス
エンジニアリング・デザインの教科書	別府 俊幸
上下水道が一番わかる	長澤 靖之
犬のための家づくり	エクスナレッジ
猫のための家づくり	エクスナレッジ
悪魔	山田 五郎
髑髏	山田 五郎
世界の美しい透明な生き物	武田 正倫
日ポン語ラップの美ー子ちゃん	服部 昇大
すべて真夜中の恋人たち	川上未映子
夜に駆ける：YOASOBI小説集	星野 舞夜
死神永生　上・下	劉 慈欣
心を支えるシェイクスピアの言葉	河合 祥一郎

※上記以外にもブックハンティングで購入した図書を取り揃えております。

SDGsコーナー新設について

令和３年12月13日（月）よりSDGsコーナーを設けて展示しております。

以下に設置図書の一部を記載しますので、ぜひご利用ください。

◎SDGsコーナーの選書の一部紹介

書　　名	著者名
2030年：すべてが「加速」する世界に備えよ	ピーター・ディアマンディス，スティーブン・コトラー
本当の貧困の話をしよう	石井 光太
高校生ワーキングプア「見えない貧困」の真実	ＮＨＫスペシャル取材班
フードバンク	佐藤 順子
ヤングケアラー	澁谷 智子
13歳から分かる！ 7つの習慣	「７つの習慣」編集部監修
ウンコはどこから来て、どこへ行くのか	湯澤 規子
エネルギーをめぐる旅	古舘 恒介
働き方5.0	落合 陽一
世界を変える５つのテクノロジー	山本 康正
科学技術の進展と人類の持続可能性	勝田 悟
ESG思考 激変資本主義1990-2020	夫馬 賢治
世界から格差がなくならない本当の理由	池上 彰
異常気象で読み解く現代史	田家 康
地球の未来のため僕が決断したこと	ビル・ゲイツ
海洋プラスチックごみ問題の真実	磯辺 篤彦
香港デモ戦記	小川 善照
18歳選挙世代は日本を変えるか	原田 曜平
クマ問題を考える	田口 洋美
天、共に在り	中村 哲

※上記以外にもSDGs関連図書を取り揃えております。

第56回全国高等専門学校体育大会　結果一覧

団体の部

競技名	大会会場	男子	女子
バレーボール	朝日スポーツセンター・庄内町総合体育館	２回戦敗退	１回戦敗退
剣道	仙台高専名取キャンパス　第一体育館		予選リーグ敗退
ソフトテニス	八戸市東運動公園	予選リーグ敗退	

個人の部

競技名	種目名	クラス	氏名	成績
水泳	男子50m自由形	Ｃ３	下野　直太朗	タイム決勝　14位
	男子100m自由形	Ｃ３	下野　直太朗	タイム決勝　15位
	男子50m自由形	Ｚ３	松山　慎太郎	タイム決勝　２位
	男子100m背泳ぎ	Ｚ３	松山　慎太郎	タイム決勝　３位
	男子800m自由形	Ｌ２(Ｃ１)	神　偉晴	タイム決勝　11位
	男子200m平泳ぎ	Ｌ２(Ｚ１)	奥谷　航大	タイム決勝　５位
	男子100m平泳ぎ	Ｌ２(Ｚ１)	奥谷　航大	タイム決勝　11位
剣道	男子個人	Ｚ４	川原　大和	２回戦敗退
	男子個人	Ｍ４	加倉井　陽	１回戦敗退
卓球	女子ダブルス	Ｌ２(Ｃ１)	蛯名　歩来	３位
		Ｌ２(Ｃ１)	田中　蒼空	
	女子シングルス	Ｌ２(Ｃ１)	蛯名　歩来	予選リーグ Ｃブロック ３位(敗退)
柔道	女子個人戦	Ｚ２	月折　優里明	３位
ソフトテニス	男子ダブルス	Ｍ３	太田　尚吾	１回戦敗退
		Ｅ３	河村　宗哉	
	女子ダブルス	Ｃ２	髙﨑　美羽	１回戦敗退
		Ｃ３	髙村　理子	

令和3年度全国高校総合体育大会（インターハイ）　結果一覧

個人の部

競技名	種目名	クラス	氏名	成績
陸上競技	男子走幅跳	Ｅ３	町屋　慶明	８位

令和3年度　各種コンテスト結果一覧

競技種目	日程・会場	結　果	備　考
全国高等専門学校 第32回 プログラミングコンテスト	令和３年10月９日～10日 秋田高専主幹・オンライン開催	競技部門　１回戦敗退 チーム：30文字以内の任意の文字列 間部莉帆、池田光一、新谷大翔（全員Ｅ４）	
第34回 アイデア対決・ 全国高等専門学校 ロボットコンテスト2021 東北地区大会	令和３年11月７日 オンライン開催	Aチーム（UMIBOZU烏賊す） マブチモーター株式会社 特別賞 古林和樹（Z5）、宮下功誠（M4）、島脇圭佑（E4）、佐藤光史（E4）、下村瑠也（E4）、下井田和己（M3）、柳町啓太（M3）、中村ありさ（M3）、相馬崇史（E3）、町屋健心（E3）、齋藤綸（M2）、高橋雷（L4/M1）、畑山遥紀（L2/E1）、石倉康多（L2/E1）	
パソコン甲子園2021	令和３年11月13日～14日 会津大学・オンライン開催	プログラミング部門 地域ブロック代表（青森県１位） ３年連続全国大会出場 チーム：Ctrl+Z 二川目裕太（Ｅ３）、馬場大誠（Ｅ３）	本選は上位入賞ならず 27位/56チーム中
日本政策金融公庫主催 第９回 「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」	令和３年11月25日 オンライン開催	セミファイナリスト（全国ベスト20） チーム：HOTATEguy＆I プランタイトル：コロナウイルスも真っ青！ ～藍と貝で抗菌・消臭できる乾燥剤～ 関智朗、瀧田澄怜、中村ことみ、赤田健介、内山歩音、柿崎元徳、橋本樹、林研樹（全員C2）	全国高校生からの応募総数 3,087件（353校） 中ベスト20位
第42回青森県高等学校 総合文化祭　写真部門	開催中止・審査のみ １次審査　令和３年11月19日、23日 ２次審査　令和３年12月13日	最優秀学校賞 優秀賞　下栃棚弘大（M2） 優良賞　風穴宗汰（E3）、工藤敢太（E3）、橋本采弥（M2）、髙島唯利（L1/E1）、橋本美愛（L2/C1）	
第42回青森県高等学校 総合文化祭　書道部門	令和３年12月24日～25日 東奥日報新町ビルNew'sホール	優良賞　極檀美空（C2）	
第21回日本情報オリンピック（JOI 2021/2022）本選	令和４年２月13日 オンライン開催	小笠原悠吏（E2）	
八戸市主催 第11回（令和３年度） 学生＆高校生まちづくりコンペティション	令和４年２月23日 オンライン開催	特別賞　ろぼっと娘 プロジェクトタイトル：ろぼっと娘と遊ぼう!学ぼう!プロジェクト −2020年小中学校プロジェクト必修化に伴う教材制作と授業研究− 三上うらら（E4）、増尾桃佳（M3）、カートゥーン（M3）、小笠原ゆい（E2）、中里美夢（E5）、髙澤もも（E5）、津内口夕奈（AE2）	

ロボコン

第34回アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2021　東北地区大会

日程：令和３年11月７日㈰
会場：オンライン開催
結果：Ａチーム（UMIBOZU烏賊す）
　　マブチモーター株式会社 特別賞

書道部

第42回 青森県高等学校 総合文化祭　書道部門

日程：12月24日㈮～12月25日㈯
会場：東奥日報新町ビル
　　New'sホール
結果：優良賞　極檀美空（C2）

令和３年度　各種検定資格合格者一覧

			第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合計
			M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	
特別学修	一般	実用英語技能検定準２級					0					0	4		2	3	9					0					0	9
		実用英語技能検定２級		1	1		2		1	3	1	5	1		2	1	4			2		2					0	13
		実用英語技能検定準１級					0					0					0					0					0	0
		漢字能力検定２級					0					0				1	1					0					0	1
		漢字能力検定準１級					0					0					0					0					0	0
		技術英語検定３級					0			1		1	2	5	2	6	15					0					0	16
		技術英語検定２級					0					0	1	2			3					0					0	3
		数学検定２級					0					0					0					0					0	0
		数学検定準１級					0					0					0					0					0	0
		TOEIC　400点以上470点未満					0					0		2	3	1	6	2				2	1			1	2	10
		TOEIC　470点以上600点未満					0					0				2	2	1	4	2	1	8	2	1		4	7	17
		TOEIC　600点以上730点未満					0					0		1	1		2		1		1	2		1		4	5	9
		TOEIC　730点以上					0					0	1	2		2	5		1	1	2	4			2		2	11
		日本語能力試験N3					0					0		1			1					0					0	1
		日本語能力試験N2					0					0					0					0					0	0
		日本語能力試験N1					0					0					0			1		1					0	1
		知的財産管理技能士３級					0					0					0					0					0	0
		知的財産管理技能士２級					0					0					0					0					0	0
	専門	技術士第１次試験					0					0					0					0					0	0
		ラジオ音響技能検定３級					0					0					0					0					0	0
		ディジタル技術検定３級					0					0					0					0					0	0
		ＩＴパスポート					0					0					0					0					0	0
		情報システム試験システムエンジニア認定					0					0					0					0					0	0
		基本情報技術者					0					0					0					0					0	0
		応用情報技術者					0					0					0					0					0	0
		ボイラー技士２級					0					0					0					0					0	0
		電気主任技術者３種					0					0					0					0					0	0
		電気工事士２種					0					0					0					0					0	0
		危険物取扱者乙種（第４類）			1		1	1		3		4	3		1	3	7	2	1			3					0	15
		危険物取扱者乙種（第４類以外）					0			1		1				1	1					0					0	2
		危険物取扱者甲種					0					0			1		1					0					0	1
		ＣＡＤ利用技術者試験					0					0					0					0					0	0
		２級土木施工管理技術検定試験					0					0				2	2				7	7				8	8	17
		２級建築施工管理技術検定試験					0					0					0					0					0	0
		土木技術検定試験					0					0					0					0					0	0
		消防設備士乙種（いずれかの類）					0					0					0					0					0	0
課題研究	専門	特別企画学習Ⅰ（R2岩手大学enPiT）					0					0					0		2			2					0	2
		特別企画学習Ⅰ（測量学・同実習Ⅱ）					0				1	1					0					0					0	1

令和３年度　スポーツ賞受賞者一覧

クラブ名	（表彰を受けた）団体名等	受賞名	受賞者（クラス、氏名）
バドミントン部	八戸市バドミントン協会	優秀選手賞	Ｍ３　竹中雄飛
バドミントン部	八戸市バドミントン協会	努力賞	Ｍ３　野田琉乃介
バドミントン部	八戸市バドミントン協会	優秀選手賞	Ｚ３　種市佳純
バレーボール部	八戸市バレーボール協会	令和３年度奨励賞（高校の部）	Ｚ３　伊藤太一

令和４年度　八戸工業高等専門学校行事予定表

出校日数			授業日数／週数		
春学期	43		春学期	41	10
夏学期	48		夏学期	44	11
秋学期	47		秋学期	43	10
冬学期	48		冬学期	40	9
計	186		計	168	40

月	日	曜	行事	備考
4月	1	金		春季休業
	2	土		
	3	日	寮生帰寮日、入寮式(午後) 入学式、入学者研修会	
	4	月	始業式・対面式・ ・健康診断	
	5	火	春学期開始	
	6	水	健康診断(3・5学年) 7-8h	
	7	木		
	8	金		
	9	土		
	10	日		
	11	月		
	12	火	短縮授業 (部活紹介)	
	13	水		
	14	木	歯科検診(午前)	
	15	金		
	16	土		
	17	日		
	18	月		オープン授業推進週間
	19	火	短縮授業	自主探究0 9-10h
	20	水		自主探究1 7-8h
	21	木		
	22	金		
	23	土		
	24	日		
	25	月		
	26	火		
	27	水		
	28	木		
	29	金	昭和の日・短縮授業・授業参観日・学寮閉鎖	
	30	土		
5月	1	日		
	2	月	学生臨休	
	3	火	憲法記念日	
	4	水	みどりの日	
	5	木	こどもの日	
	6	金	学生臨休	
	7	土		
	8	日	寮生帰寮日	
	9	月	短縮授業 学生会総会	
	10	火	第1-1回 合同再試験日	
	11	水		
	12	木	第1-2回 合同再試験日	
	13	金		
	14	土		
	15	日		
	16	月		
	17	火		
	18	水		
	19	木		
	20	金		
	21	土		
	22	日		
	23	月		
	24	火		
	25	水		
	26	木		
	27	金		
	28	土		
	29	日		
	30	月	短縮授業(9-10h 補講)	
	31	火	春学期到達度試験	
6月	1	水	春学期到達度試験	
	2	木	春学期到達度試験	
	3	金	試験予備日・補講 日・追試験	高校総体
	4	土		
	5	日		
	6	月	夏学期開始	追試験期間
	7	火	追試験期間	
	8	水	校長講話	答案返却期間・総括授業期間
	9	木	答案返却期間・ 総括授業期間	
	10	金		
	11	土		
	12	日		
	13	月		オープン授業推進週間
	14	火	第2-1回 合同再試験日	
	15	水		自主探究2 7-8h
	16	木	第2-2回 合同再試験日	
	17	金		
	18	土		
	19	日		
	20	月		
	21	火	校内体育大会	
	22	水		
	23	木		
	24	金	短縮授業	寮祭
	25	土	全学年保護者懇談会 寮生保護者懇談会	
	26	日		
	27	月		
	28	火		
	29	水		
	30	木		
7月	1	金	東北地区高専 体育大会	学生臨休
	2	土	東北地区高専 体育大会	
	3	日	東北地区高専 体育大会	
	4	月	学生臨休	
	5	火		
	6	水		
	7	木		
	8	金		
	9	土		
	10	日		
	11	月		
	12	火	第3-1回 合同再試験日	
	13	水		
	14	木	第3-2回 合同再試験日	
	15	金		
	16	土		
	17	日		
	18	月	海の日	
	19	火		
	20	水		自主探究3 7-8h
	21	木		
	22	金		
	23	土		
	24	日		
	25	月		
	26	火		
	27	水		
	28	木		
	29	金		
	30	土		
	31	日		
8月	1	月		
	2	火	補講日	
	3	水	補講日	
	4	木	夏学期到達度試験	
	5	金	夏学期到達度試験	
	6	土		
	7	日		
	8	月	夏学期到達度試験	
	9	火	夏学期到達度試験	
	10	水	補講日・追試験・ 学寮閉鎖	
	11	木	山の日	夏季休業
	12	金		
	13	土		
	14	日		
	15	月		
	16	火		
	17	水		
	18	木		
	19	金		
	20	土		
	21	日		
	22	月		
	23	火		
	24	水		
	25	木		
	26	金		
	27	土		
	28	日		
	29	月		
	30	火		
	31	水		
9月	1	木		
	2	金		
	3	土	一日体験入学	
	4	日	一日体験入学	
	5	月		
	6	火		
	7	水		
	8	木		
	9	金		
	10	土		
	11	日		
	12	月		
	13	火		
	14	水		
	15	木		
	16	金		
	17	土		
	18	日		
	19	月	敬老の日	
	20	火		
	21	水		
	22	木		
	23	金	秋分の日	
	24	土		
	25	日	寮生帰寮日	
	26	月	答案返却・ 総括授業期間・補講	
	27	火	答案返却・ 総括授業期間・補講	
	28	水	自主探究4・研修期間 第4-1回合同再試験日	
	29	木	校長講話・自主探究4 第4-2回合同再試験日	
	30	金	校内球技大会	
10月	1	土		
	2	日		
	3	月	秋学期開始	
	4	火		
	5	水	第1回合同補充試験日	
	6	木		
	7	金		オープン授業推進週間 保護者授業参観日週間
	8	土		
	9	日		
	10	月	スポーツの日	
	11	火		
	12	水	第2回合同補充試験日	
	13	木	(開校記念日)	
	14	金		
	15	土		
	16	日		
	17	月		
	18	火		
	19	水		
	20	木		
	21	金		
	22	土		
	23	日		
	24	月		
	25	火		
	26	水		
	27	木	短縮授業 (高専祭準備)	
	28	金	高専祭準備	
	29	土	保護者懇談会 (1～3学年)	高専祭
	30	日		
	31	月	後片付け	午後臨休
11月	1	火	月曜日の授業	
	2	水		
	3	木	文化の日	
	4	金		
	5	土		
	6	日		
	7	月		
	8	火		
	9	水		
	10	木		
	11	金		
	12	土		
	13	日		
	14	月		
	15	火		
	16	水		
	17	木		
	18	金		
	19	土		
	20	日		
	21	月		
	22	火		
	23	水	勤労感謝の日	
	24	木		
	25	金		
	26	土		
	27	日		
	28	月	補講日	
	29	火	秋学期到達度試験	
	30	水	秋学期到達度試験	
12月	1	木	秋学期到達度試験	
	2	金	秋学期到達度試験	
	3	土	4学年保護者懇談会	
	4	日		
	5	月	補講日・追試験	
	6	火	冬学期開始	追試験期間
	7	水		追試験期間
	8	木	校長講話	答案返却期間・総括授業期間
	9	金	答案返却期間・ 総括授業期間	
	10	土		
	11	日		
	12	月		
	13	火		4学年見学旅行
	14	水		
	15	木		
	16	金		
	17	土		
	18	日		
	19	月		
	20	火		
	21	水	第3回合同補充試験日	
	22	木		
	23	金	短縮授業 学寮閉鎖	
	24	土		冬季休業
	25	日		
	26	月		
	27	火		
	28	水		
	29	木		
	30	金		
	31	土		
1月	1	日	元日	冬季休業
	2	月	振替休日	
	3	火		
	4	水		
	5	木		
	6	金		
	7	土		
	8	日		
	9	月	成人の日 寮生帰寮日	
	10	火		
	11	水	月曜日の授業	
	12	木		
	13	金		
	14	土		
	15	日		
	16	月		
	17	火		
	18	水		自主探究5 5-6h
	19	木		
	20	金		
	21	土	本科推薦入試	
	22	日		
	23	月		
	24	火		
	25	水	第4回合同補充試験日	
	26	木		
	27	金		
	28	土		
	29	日		
	30	月		
	31	火		
2月	1	水		
	2	木		
	3	金		
	4	土	本科推薦追試	
	5	日		
	6	月		
	7	火	金曜日の授業	
	8	水		
	9	木		
	10	金	補講日	午後臨休
	11	土	建国記念の日	
	12	日	本科学力入試	
	13	月	学生臨休 入試採点	
	14	火	冬学期到達度試験	
	15	水	冬学期到達度試験	
	16	木	試験予備日・補講日・追 試験	
	17	金	答案返却・補充試験	
	18	土		
	19	日		
	20	月	研修期間 成績締切	
	21	火	(1-2h 答案返却) ポスター発表会3年	
	22	水	(1-2h 答案返却) ポスター発表会2年	
	23	木	(1-2h 答案返却) ポスター発表会1年	
	24	金	学生臨休	
	25	土		
	26	日	本科学力追試	
	27	月	研修期間 3学年遠足	
	28	火	研修期間 成績確認日	
3月	1	水	企業内容説明会	学生臨休
	2	木	学年修了式1～4年 異議申立期限、学寮閉鎖	
	3	金		
	4	土		
	5	日		
	6	月		
	7	火		
	8	水		
	9	木	成績判定会議 (本科)	
	10	金		
	11	土		
	12	日		
	13	月		
	14	火		
	15	水	去就報告	
	16	木		
	17	金	卒業式	
	18	土		学年末休業
	19	日		
	20	月		
	21	火	春分の日	
	22	水		
	23	木		
	24	金		
	25	土		
	26	日		
	27	月		
	28	火		
	29	水		
	30	木		
	31	金		

- ○ 第3学年FH(4/27) 7-8h
- ○ 学寮閉鎖(4/29～5/7)

- ○ 学寮閉鎖(4/29～5/7)
- ○ 第2学年FH(5/11) 7-8h
- ○ 春学期授業評価アンケート
実施期間(5/16～6/9)
- ○ 第1学年FH(5/18) 7-8h
- ○ 寮内消防訓練(5/23)

- ○ 第1回英検(1次)(6/5)
- ○ 夏学期校長講話(6/8) 1-2h
- ○ 専攻科学力入試(6/14)
- ○ 第3学年FH(6/22) 7-8h
- ○ 第2学年FH(6/29) 7-8h

- ○ 第1回英検(2次)(7/3)
- ○ 第1学年FH(7/6) 7-8h
- ○ 夏学期授業評価アンケート
実施期間(7/13～9/27)

- ○ 学寮閉鎖(8/10～9/24)
- ○ 化学の学校

- ○ 学寮閉鎖(8/10～9/24)
- ○ 秋学期校長講話(9/29)1-2h
- ○ 編入学試験(9/30)
- ○ TOEIC IP(第4学年)
- ○ 消防訓練

- ○ 5学年休講(10/3)
- ○ 東北地区高専体育大会ﾗｸﾞﾋﾞｰ
ﾌｯﾄﾎﾞｰﾙ競技(10/7～10/11)
- ○ 第2回英検(1次)(10/9)
- ○ 第33回全国高専ブロコン
(10/15～10/16)主管校：群馬高専
- ○ 第3学年FH(10/19) 7-8h
- ○ 第2学年FH(10/26) 7-8h

- ○ 第1学年FH(11/2) 7-8h
- ○ 第2回英検(2次)(11/6)
- ○ 秋学期授業評価アンケート
実施期間(11/8～12/9)
- ○ 第3学年FH(11/9) 7-8h
- ○ 第2学年FH(11/16) 7-8h
- ○ 高専制度創設60周年記念式典
・シンポジウム(11/16)
- ○ 学生会会長選挙

- ○ 冬学期校長講話(12/8) 1-2h
- ○ 学寮閉鎖(12/23～1/8)
- ○ 第1学年FH
- ○ まちなか文化祭
- ○ ライフ研究成果発表会

- ○ 学寮閉鎖(12/23～1/8)
- ○ 自主探究ポスター提出期限(1/13)
- ○ 冬学期授業評価アンケート
実施期間(1/16～2/17)
- ○ 自主探究報告書提出期限(1/20)
- ○ 第3回英検(1次)(1/22)
- ○ ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｱﾝﾄﾚﾌｧｰｱｲﾃﾞｱｺﾝﾃｽﾄ

- ○ 第3回英検(2次)(2/19)
- ○ 成績・欠課時数の異議申立
期間(2/28～3/2)
- ○ TOEIC IP(第3学年)

- ○ 学寮閉鎖(3/2～)
- ○ 第5学年特別再試験(3/14～3/15)

※ただし、都合により変更する場合があります。

VEGETABLE OIL INK